

令和4年度 こおり教育要覧



第28回 全国山城サミット 桑折大会



桑折町教育委員会

目 次

桑折町の概要

1	桑折町の町章・花・木・鳥	1
2	桑折町町民憲章	1
3	歴史	2
4	位置・面積・人口	2
5	町長・副町長、議長・副議長	2

桑折町教育委員会

	桑折町教育大綱	3
1	教育長・教育委員	5
2	組織	6
3	予算	7
4	重点	8

学校教育

1	保育所・幼稚園・小学校・中学校一覧	11
2	保育所・幼稚園・小学校・中学校沿革	12
3	歴代校長名簿	19
4	中学校卒業生の進路状況	20
5	児童生徒数の推移と令和4年度児童生徒数	21
6	児童生徒の体位	22
7	学校給食事業	24

生涯学習

1	生涯学習関係審議会・機関	27
2	生涯学習関係団体	28
3	生涯学習関係施設一覧	28
4	社会教育・スポーツ関係沿革	30

資料編

- 桑折町教育振興基本計画（2022～2031）の概要
- 令和4年度桑折町こども園、各学校の経営・運営ビジョン
 - 醸芳保育所
 - 醸芳幼稚園
 - 醸芳小学校
 - 睦合小学校
 - 半田醸芳小学校
 - 伊達崎小学校
 - 醸芳中学校

歴史と文化の町 こおり

～桑折町の概要～

■ 桑折町の町章・花・木・鳥

町章



昭和 40 年制定 上半円で「コ」下で「オ」中の白地で「リ」を表します。全体に弧を描く鵬は町の和と飛躍を示し、平仮名の「こ」は半田山を象徴しています。

町の花 『モモ』

桑折の春を花霞で美しく彩ります。
実は、くだものの町を代表する逸品です。

町の木 『アカマツ』『カヤ』

桑折の大地が育んだ緑。どっしりと根を下ろし、町の四季を見守っています。

町の鳥 『カッコウ』

美しさの中にどこか愛嬌のある鳴き声は、夏の訪れを告げる風物詩です。



～「こおり」という地名と桑折町の誕生～

その名前が歴史に登場したのは奈良・平安時代。東山道に駅家(うまや)が設置され、郡家がおかれたところから桑折と改められました。昭和 30 年には町村合併促進法に基づいて旧桑折町、睦合村、伊達崎村、半田村が合併して今の“桑折町”が誕生しました。

■ 町民憲章

桑折町町民憲章

(昭和 60 年 9 月制定)

桑折町は、阿武隈川の清い流れと、緑につつまれた半田山のふもとに開ひらけた古い歴史をもつ由緒ある町です。

私たちは、この町の、伝統ある歴史と文化、恵まれた自然環境を守り、さらにこの町を、活力ある町に育てて後世に引き継ぐために、町民みんなの誓いとしてここに町民憲章を定めます。

- 一、 歴史と伝統を尊び、かおり高い、文化の町をつくりましょう。
- 一、 恵まれた自然を愛し、環境を整え、緑の町をつくりましょう。
- 一、 心身をきたえ、健康で、明るい町をつくりましょう。
- 一、 勤労にはげみ、活力ある、豊かな町をつくりましょう。
- 一、 きまりを守り、助け合う心を育て、住みよい町をつくりましょう。

■ 歴史

原始	○大字南半田の平林遺跡から、約2万5千年前の旧石器時代のものと考えられる石器群が出土している。
古代	○6～7世紀頃の築造かと思われる塚野目古墳群の中では、大字伊達崎の錦木塚古墳が著名である。 ○平安期には郡の再編で信夫郡から伊達郡が分かれ、郡衙が置かれたことから『郡』の地名となったとされている。
中世	○1189年(文治5年)源頼朝の藤原攻めで軍功のあった中村朝宗が伊達郡を与えられ姓を伊達とした。以来、伊達氏は大字万正寺の西山城を居城とし、17代政宗に至るまでその勢いが及んだ。
近世	○豊臣秀吉の奥羽仕置きにより、伊達・信夫両郡は蒲生氏郷に与えられ、1598年(慶長3年)からは、上杉氏が領し、新田開発、殖産に力を注いだ。 ○佐藤新右衛門らによる西根下堰(1618年)西根上堰(1625年)の開墾や半田銀山の採鉱、養蚕業の隆盛などは、本町の歴史にとって重要である。 ○1686年(貞享3年)奥州街道・羽州街道の分岐点である桑折に桑折代官所が設置された。
近代	○1883年(明治16年)伊達郡役所が保原から桑折に移転新築された。 ○1889年(明治22年)11村が合併して桑折町、睦合村、半田村、伊達崎村となった。 ○1955年(昭和30年)更に、1町3村が合併して桑折町が誕生した。
現代	○2004年(平成16年)には、地方自治法及び市町村合併特例法(昭和40年法律第6号)に基づく伊達郡7町による合併協議会には加わったものの伊達市の合併には参加せず、自立の道を選択し、2015年(平成27年)1月1日に町制施行60周年を迎えた。 ○2021年(令和3年)町民に寄り添い、頼りにされる「町民のための庁舎」であるとともに、町民の安全・安心を支える「災害時に強い防災拠点となる庁舎」としての役場新庁舎が開庁。63年ぶりの庁舎移転となった。

■ 位置・面積・人口

本町は、福島県の北部、福島盆地の北に位置し、東西に7.5km・南北に8.3kmの方形の町で、北は国見町、西は福島市、南と東を伊達市にそれぞれ接しており、阿武隈川が町の東端を流れ、国道4号と東北自動車道、東北本線と東北新幹線が町を南北に縦貫しています。

また、令和2年には新たに東北中央自動車道のインターチェンジおよび東北自動車道とのジャンクションが設置され、交通の要衝として注目されています。

北緯：37度50分 東経：140度30分

総面積：42.97 km²

*住民基本台帳各年4月1日現在

明治 9年	8,900人	平成 22年	13,254人
昭和 5年	13,306人	平成 24年	12,792人
昭和 25年	17,307人	平成 31年	11,841人
昭和 45年	14,723人	令和 2年	11,679人
平成 2年	14,692人	令和 3年	11,443人
平成 12年	13,700人	令和 4年	11,320人

■ 町長・副町長、議長・副議長

町長	高橋 宣博	副町長	田中 香代子
議長	片平 秀雄	副議長	原 賢志

桑折町教育委員会

桑折町教育大綱

(令和3年9月24日 総合教育会議で決定)

本教育大綱は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、町長が、町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものである。

本町においては、今回新しい町総合計画を策定したところであり、その内容に基づいて教育大綱を次のように改め、計画期間も総合計画と同様に令和4年度から令和13年度までとする。

1 基本目標

桑折町総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」に基づき、町の将来像「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」の実現に向け、教育・文化・スポーツ行政を推進する。

2 基本方針

- (1) みんなで子育て・教育に携わり、「子育てするなら桑折町」「桑折ならではの質の高い教育」と評価されるような乳幼児保育・教育や学校教育の推進を通して、子育て支援の充実と「桑折町の15歳のめざす姿（人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子）」の実現に努める。 〔子どもを大切にすまちづくり〕
- (2) 生涯学習・生涯スポーツ事業の推進を通して、みんなが生きがいをもち、心身ともに健康で活き生きと暮らせるまちづくりに貢献する。 〔健康長寿で元気なまちづくり〕
- (3) 歴史まちづくりの推進を通して、みんなが互いに協力し、町の魅力や元気を発信しながら、交流の輪が広がるまちづくりに貢献する。 〔交流で絆を育むまちづくり〕

3 施策の体系と主な取組み

(1) 乳幼児保育と教育の充実	
①待機児童ゼロの堅持	<ul style="list-style-type: none"> ◆認定こども園の開設に伴う既存保育所の運営移行 ◆保育士や支援員の確保と施設・設備の充実
②幼児教育の質の向上と小中学校への接続	<ul style="list-style-type: none"> ◆支援員の研修や関係者間の情報共有による保育体制の充実 ◆環境を通しての遊びを中心とした総合的な指導の充実 ◆認定こども園との連携に基づく幼児教育の実施 ◆研修会・先進園視察実施 ◆自然と触れ合う活動の充実：自然体験・歴史体験・栽培活動の実施 ◆保育所・幼稚園・小学校・中学校の合同保育研究会・授業研究会の実施 ◆幼児・児童・生徒の交流活動の実施
③家庭への手厚い子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆特別支援教育の充実：ことばの教室・就学相談会 ◆幼稚園給食費全額補助、幼稚園入園祝い品制服贈呈、病児病後児保育利用助成 ◆子育て参考図書配付や家庭教育講演会開催、子育て相談、子育て支援策の情報発信
(2) 学校教育の推進	
①一人一人の能力を最大限に伸ばす質の高い教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆学力向上（脳科学研究に基づく生活習慣改善、読み・書き・計算徹底反復、探究型授業による主体的・対話的で深い学びの実践、家読奨励、桑折学習塾など） ◆体力向上（「早寝・早起き・朝ごはん」町民運動の推進、給食を活用した食育、運動身体づくりプログラム、運動継続の1校（園）1実践、地域スポーツとの連携など） ◆心の教育（不登校・いじめ対策、規律・礼節の重視、体験活動・平和学習・キャリア教育の充実、ふるさと教育（西山城見学など）の拡充など）
②新しい時代に必要となる資質・能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ◆英語教育（英語指導助手・指導協力員の活用、英検受験奨励・費用助成、英語体験活動の実施など） ◆情報活用能力の強化（1人1台端末と高速大容量通信ネットワークを常時活用する授業、家庭でもつながる通信環境を活用するオンライン授業や家庭学習、ICT支援員配置・活用と教職員研修など）

<p>③一人一人を大切にす温かい教育</p> <p>④家庭への手厚い子育て支援</p> <p>⑤教育施設・設備の充実</p> <p>⑥小中学校の在り方の検討</p>	<p>◆各種教育課題への対応（防災・安全教育、持続可能な開発のための教育、感染症対策も含む健康教育など）</p> <p>◆特別支援教育（特別支援学級・通級指導教室・特別支援教育支援員の活用、関係機関との連携による切れ目のない支援体制の確立など）</p> <p>◆不登校対策（スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用による教育相談体制づくりと家庭への支援、不登校が起きない学級・学校づくり、教育支援センターによる教育機会確保と学校復帰支援など）</p> <p>◆経済的支援（給食費助成・制服贈呈・就学援助・奨学資金貸与など）</p> <p>◆家庭教育支援（参考図書配付や家庭教育講演会開催による家庭の教育力向上支援、情報提供や相談体制整備、子育て支援施策についての情報発信の強化など）</p> <p>◆学校教育施設（長期的な維持・管理・整備計画の作成（学校プールの取り扱いも含む））</p> <p>◆給食センター（施設・設備の計画的な維持管理・整備、管理・運営の在り方の検討）</p> <p>◆少子化への対応策の検討（学校小規模化の現状と今後の推移についての把握と分析、小学校統合についての様々な観点からの検討など）</p> <p>◆学校運営の改善の検討（働き方改革や学校・地域連携・協働の推進、小中一貫教育やコミュニティ・スクールの導入の検討など）</p>
<p>（3）生涯学習の推進</p>	
<p>①生涯学習活動の推進</p> <p>②公民館施設等の管理運営</p> <p>③芸術・文化の振興</p> <p>④多世代交流の推進</p> <p>⑤多文化交流の推進</p>	<p>◆生涯学習に関するニーズの把握 ◆「桑折町生涯学習推進基本計画」の見直し</p> <p>◆ライフステージに応じた多様な学習機会の提供</p> <p>◆主体的に学ぶ機会の推進と場の提供 ◆ICTを活用した学習機会の提供</p> <p>◆地域での施設活用に対する奨励・支援 ◆各施設の計画的な維持補修</p> <p>◆イコーゼ！及びよも～よの適切な管理運営</p> <p>◆公民館等施設の近隣市町村との相互利用検討</p> <p>◆芸術鑑賞会や文化講演会の開催</p> <p>◆町文化団体連絡協議会（町文化祭事業含む）及び加盟団体等の活動奨励・支援</p> <p>◆町民が主体的に活動成果を披露する場の提供</p> <p>◆地域学校協働活動事業 ◆こおり地域クラブの活性化</p> <p>◆ボランティア人材の発掘 ◆地域リーダーの育成 ◆青少年育成事業の充実</p> <p>◆姉妹都市エリザベスタウン市との相互交流</p> <p>◆国際交流を推進する自主的活動への支援</p>
<p>（4）生涯スポーツの推進</p>	
<p>①健康・体力づくりを目指す生涯スポーツの推進</p> <p>②スポーツ団体等の支援</p> <p>③体育施設等の充実</p>	<p>◆各種スポーツイベント、講演会等の開催</p> <p>◆健康・体力づくりのための事業展開</p> <p>◆各種スポーツ団体への活動支援（補助金、奨励費等の交付）</p> <p>◆スポーツ公園（仮称）整備の検討</p> <p>◆体育施設全般の有効的な管理運営方法の検討</p> <p>◆体育施設の経年劣化に伴う計画的な維持補修</p> <p>◆体育施設の近隣市町村との相互利用の検討</p>
<p>（5）歴史まちづくりの推進</p>	
<p>①歴史的風致維持向上計画の推進</p> <p>②文化財の保護・活用の推進</p> <p>③桑折町文化記念館の復旧と役割の見直し</p>	<p>◆歴史的風致維持向上計画の見直し及び推進</p> <p>◆歴史案内人育成と体制の充実</p> <p>◆既存の散策ルートを活用した歴史遺産周遊路の設定</p> <p>◆史跡桑折西山城跡の保存団体を組織し、維持管理や案内を行う体制づくり</p> <p>◆文化財の新規指定と国・県指定への格上げ</p> <p>◆伝統文化の継承に対する支援及び発表の機会の提供</p> <p>◆文化記念館の復旧 ◆文化記念館の歴史探訪・観光拠点機能の充実</p> <p>◆資料や美術品を保管・公開する博物館機能の充実</p>

1 教育長・教育委員



教育長
会田 智康
(就任年月日：H27.4.1)
(任期：R3.4.1～R6.3.31)



教育委員(教育長職務代理者)
柴田 宣広
(就任年月日：H22.10.1)
(任期：H30.10.1～R4.9.30)



教育委員
鈴木 キヨ子
(就任年月日：H27.10.1)
(任期：R3.10.1～R7.9.30)



教育委員
小野 紀章
(就任年月日：H28.10.1)
(任期：R2.10.1～R6.9.30)



教育委員
長谷 富子
(就任年月日：R1.10.1)
(任期：R1.10.1～R5.9.30)

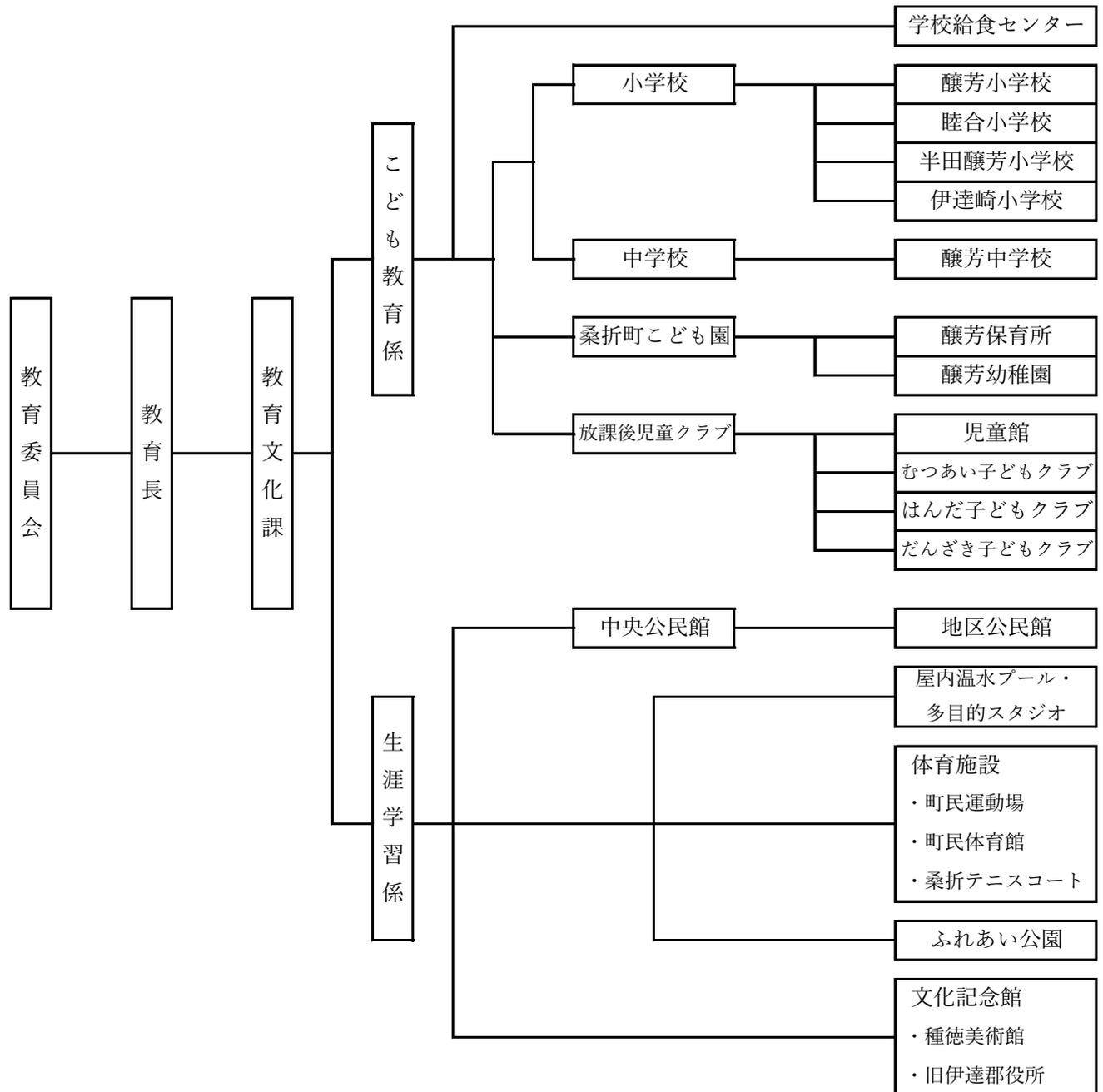
■歴代教育長

①熊坂惣兵衛 S30.4～	②遠藤 勉 S39.10～	③遠藤伊雄 S52.5～	④大友 寛 S60.10～	⑤村岡房之助 H1.10～
⑥岩谷敬恒 H8.10～	⑦荒海健二 H14.1～	⑧室井君男 H21.4～	⑨安藤重男 H23.1～	

■歴代教育委員

氏名	在任期間	氏名	在任期間	氏名	在任期間
熊坂惣兵衛	S30.7～57.9	八巻敏榮	S51.10～59.9	半澤敏子	H7.10～19.9
大越宇市	S31.10～41.9	遠藤伊雄	S52.5～60.9	岩谷敬恒	H8.10～14.9
奥山覺三	S31.10～34.9	高原アイ	S53.10～59.9	佐藤好久	H14.2～20.9
朽木吉明	S31.10～51.9	柴田宣教	S57.10～H6.9	荒海健二	H14.11～21.3
佐藤俊夫	S31.10～41.9	鈴木三元	S58.10～H7.9	佐藤善利	H18.10～22.9
鈴木夕ネ	S35.10～50.9	半澤金兵衛	S59.10～H4.9	大波敏子	H18.10～R1.9
遠藤 勉	S39.10～52.4	石幡セツ子	S59.10～H4.9	安藤重男	H19.10～27.3
古山千代壽	S41.10～45.9	大友 寛	S60.10～H1.9	安齋恵子	H20.10～28.9
氏家武兵衛	S41.10～50.9	村岡房之助	H1.10～8.9	室井君男	H21.4～22.12
八木沼惣兵衛	S45.10～57.9	大内一夫	H4.10～18.9	羽根田忠一	H23.1～27.9
角田道子	S50.10～53.1	粟野 章	H4.10～13.12		
佐々木才吉	S50.10～58.9	八木沼惣一	H6.10～18.9		

2 組織図



職名	氏名	職名	氏名	
教育文化課長	長谷部 清治	副参事	佐藤 克彦	
副参事兼学校給食センター所長	横山 雄二	主任主査兼係長	安藤 恭子	
こども教育係	主任主査兼係長	菅野 健二	中央公民館長	伊藤 好幸
	指導主事	大木 修	主任学芸員	井沼 千秋
	指導主事	穴戸 広子	主査	鈴木 真英
	主任主査	刀根 奈美	主事	本田 卓也
	主任主査	服部 亜由美	主事	和田 真結子
	主任主査	小山 大樹	主事	谷津 朋征
	主任主査	佐藤 智恵子	公民館運営推進員	内村 勝男
	主任主査	渡邊 俊介	公民館運営推進員	旗野 宣久
	主事(再任用)	片平 真由美		
	英語指導助手	パルデズ・レックス・アルマンド		

3 予 算

■教育予算

(単位：千円)

項	目	金 額	説 明
1 教育総務費 202,164	教育委員会費 事務局費 子育て支援事業費	1,074 187,586 13,504	教育委員会運営費 職員人件費 事務局管理費 就学事務費 英語指導助手受入事業費 学力向上対策事業費 スクールソーシャルワーカー緊急派遣事業委託費 子育て支援事業費
2 小学校費 83,497	学校管理費 教育振興費	70,085 13,412	小学校管理総務費 小学校管理費 小学校運営総務費 小学校運営費
3 中学校費 30,852	学校管理費 教育振興費	26,868 3,984	中学校管理総務費 中学校管理費 中学校運営費
4 幼稚園費 201,701	幼稚園費	201,701	職員人件費 幼稚園管理運営費
5 社会教育費 113,935	社会教育総務費 公民館費 文化財保護費	55,520 38,154 20,261	職員人件費 社会教育総務管理費 生涯学習振興費 公民館総務費 公民館活動振興費 公民館施設維持管理費 芸術・文化活動振興費 文化財保護総務費 文化財調査費 文化財保護管理費
6 保健体育費 208,214	保健体育総務費 体育施設費 給食施設費	363 76,844 131,007	保健体育総務管理費 体育活動振興費 体育施設維持管理費 給食センター総務費 給食センター施設運営費

■福祉予算

(単位：千円)

項	目	金 額	説 明
2 児童福祉費 (371,210) うち 218,963	児童福祉施設費 児童福祉費	167,578 51,385	職員人件費 保育所管理運営費 児童館管理運営費 放課後児童健全育成事業費

4 重点

I 基本目標

桑折町総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」に基づき、町の将来像「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」の実現に向け、教育・文化・スポーツ行政を推進する。

II 基本方針

1 子どもを大切にすまちづくり

みんなで子育て・教育に携わり、「子育てするなら桑折町」「桑折ならではの質の高い教育」と評価されるような乳幼児保育・教育や学校教育の推進を通して、子育て支援の充実と「桑折町の15歳のめざす姿（人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子）」の実現に努める。

2 健康長寿で元気なまちづくり

生涯学習・生涯スポーツ事業の推進を通して、みんなが生きがいをもち、心身ともに健康で生き生きと暮らせるまちづくりに貢献する。

3 交流で絆を育むまちづくり

歴史まちづくりの推進を通して、みんなが互いに協力し、町の魅力や元気を発信しながら、交流の輪が広がるまちづくりに貢献する。

III 重点施策

1 乳幼児保育と教育の充実

(1)待機児童ゼロの堅持

①保育士や支援員の確保と施設・設備の充実

(2)幼児教育の質の向上と小中学校への接続

①環境を通しての遊びを中心とした総合的な指導の充実

②保育所・幼稚園・小学校・中学校の合同保育研究会・授業研究会の実施

(3)家庭への手厚い子育て支援

①子育て参考図書配付や家庭教育講演会開催

2 学校教育の推進

(1)一人一人の能力を最大限に伸ばす質の高い教育の推進

①脳科学研究に基づく生活習慣改善、読み・書き・計算徹底反復、探究型授業による主体的・対話的で深い学びの実践

②運動身体づくりプログラム、運動継続の1校（園）1実践

③不登校・いじめ対策

(2)新しい時代に必要となる資質・能力の育成

①英語指導助手・指導協力員の活用

②1人1台端末と高速大容量通信ネットワークを常時活用する授業、ICT支援員配置・活用と教職員研修、ICT教育環境の整備と充実

③持続可能な開発のための教育、感染症対策も含む健康教育

(3)一人一人を大切にす温かい教育

①特別支援学級・通級指導教室・特別支援教育支援員の活用

②スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用による教育相談体制づくりと家庭への支援、教育支援センターによる教育機会確保と学校復帰支援

(4)家庭への手厚い子育て支援

①参考図書配付や家庭教育講演会開催による家庭の教育力向上支援

(5)教育施設・設備の充実

①学校施設・設備について、長期的な維持・管理・整備計画の作成

②給食センター施設・設備の計画的な維持管理・整備

(6)小中学校の在り方の検討

①学校小規模化の現状と今後の推移についての把握と分析

②学校における働き方の推進

3 生涯学習の推進

(1)生涯学習活動の推進

①「桑折町生涯学習推進基本計画」の見直し

②ライフステージに応じた多様な学習機会の提供

(2)公民館施設等の管理運営

①各施設の計画的な維持補修

(3)芸術・文化の振興

①芸術鑑賞会や文化講演会の開催

②町文化団体連絡協議会（町文化祭事業含む）及び加盟団体等の活動奨励・支援

(4)多世代交流の推進

①地域学校協働活動事業

②ボランティア人材の発掘

③多世代交流の機会創出

(5)多文化交流の推進

①多文化に関する学習機会の提供

4 生涯スポーツの推進

(1)健康・体力づくりを目指す生涯スポーツの推進

- ①健康・体力づくりのための事業展開
- (2)スポーツ団体等の支援
 - ①各種スポーツ団体への活動支援
- (3)体育施設等の充実
 - ①体育施設全般の有効的な管理運営方法の検討
 - ②経年劣化に伴う計画的な維持補修

5 歴史まちづくりの推進

- (1)歴史的風致維持向上計画の推進
 - ①歴史的風致維持向上計画の見直し及び推進
 - ②歴史案内人育成と体制の充実
 - ③ふるさと教育の推進
- (2)文化財の保護・活用の推進
 - ①史跡桑折西山城跡の保存団体を組織し、維持管理や案内を行う体制づくり
- (3)桑折町文化記念館の復旧と役割の見直し
 - ①文化記念館の復旧
 - ②文化記念館の歴史探訪・観光拠点機能の充実

学校教育

1 保育所・幼稚園・小学校・中学校一覧

(令和4年5月1日現在)

■保育所・幼稚園 [桑折町こども園 園長：齋藤小百合]

名 称	郵便番号	所 在 地	電話・FAX	所 園 長 長	副園長	学級数	児 童 生徒数
醸 芳 保 育 所	969-1613	桑島三 11-21	582-3229・(同)	三村 隆二		6	93
醸 芳 幼 稚 園	969-1613	桑島三 11-24	582-3014・3024	齋藤小百合	吉田 恵	9	210

■小中学校

名 称	郵便番号	所 在 地	電話・FAX	校 長	教 頭	学級数	児 童 生徒数
醸 芳 小 学 校	969-1613	桑島三 2-8	582-2014・2021	遠藤 和宏	長澤 敏行	15	280
睦 合 小 学 校	969-1652	成田字堰上 46-3	582-2469・2489	岩井 智哉	中島 伸樹	6	52
半田醸芳小学校	969-1641	南半田字上田町 5	582-3106・3799	五十嵐洋之	室井 昭一	6	96
伊達崎小学校	969-1662	下郡字細町 1	582-5870・6830	佐藤 浩哉	齋藤麻紀子	7	72
醸 芳 中 学 校	969-1661	上郡字柳下 5	582-3162・3157	石綿 厚	須賀 智	10	274

○令和4年度 幼小中学校現職教育研究主題

名 称	研究教科等	研 究 主 題
醸 芳 幼 稚 園	幼児教育	「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について
醸 芳 小 学 校	国語科	教科の特質に応じて「見方・考え方を働かせ資質・能力を育てる授業」(三年次)～国語科の豊かな言語活動を通して～
睦 合 小 学 校	全教科	ともに考え、自らの学びを深める児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～
半田醸芳小学校	全教科	「課題解決への道筋を追求する児童の育成」
伊達崎小学校	算数科 道徳科	自ら考え、ともに学びを深める児童の育成 ～児童が自分事のできる課題とコーディネートの工夫～
醸 芳 中 学 校	全教科	主体的に学習に取り組み、学び合い高め合う授業の創造 ～個の学びを高める問題解決的な学習～

2 保育所・幼稚園・小学校・中学校沿革

令和4年3月末現在

【醸芳保育所】

昭和26年4月	県知事の許可を得て開設
昭和36年12月	保育室サンルーム 5坪増築(16.5 m ²)
昭和50年4月	保育室改造 10 m ² (北西保育室) テラス(16.52 m ²)
昭和53年4月	保育室改造(南側2保育室)
昭和55年8月	新園舎改築工事着工
昭和56年1月	近代的な保育室が完成 定員 120名
平成12年2月	大規模修繕工事完成(乳児室の整備)
平成12年4月	乳児保育開始、地域子育て支援センター開設
平成20年4月	町内幼稚園・保育所の一体運営化に伴い『桑折町こども園』の中に位置づけられる
平成23年7月	所庭表土除去及び所舎の除染
平成24年2月	リアルタイムモニタリングポスト設置工事
平成24年5月	遊具除染及び施設周り除染
平成25年6月	緊急メールシステム導入
平成27年9月	地域子育て支援センターを屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」へ移設(平成30年4月 事業実施主体を保健福祉課に所管換え)

【醸芳幼稚園】

明治42年4月	字桑島に桑折幼稚園開設(県下第2番目) 園児 27人
昭和22年4月	醸芳幼稚園と改称
昭和55年1月	独立の現園舎完成 移転
平成6年3月	2年保育に伴い職員室を増設
平成6年4月	2年保育開始
平成10年4月	預かり保育開始
平成14年3月	3年保育に伴い西側に園舎増築
平成14年4月	3年保育開始(6学級化)、醸芳小より分離し独立園へ
平成18年4月	専任園長配置
平成20年4月	町内の幼稚園・保育所を一体的に運営することとなり『桑折町こども園』の中に位置付けられる。
平成22年10月	太陽光発電設置工事
平成23年7月	放射線量低減化のため園庭の表土除去、園舎の除染
平成23年8月	各保育室・預かり室・職員室エアコン設置
平成24年2月	リアルタイムモニタリングポスト設置工事
平成24年5月	遊具除染及び園舎周り除染
平成25年4月	緊急メールシステム導入
平成26年6月	築山、鉄棒・ジャングルジム・雲梯塗装、滑り台鉄筋修繕完了
平成27年9月	西側(年中・預かり保育室脇)駐車場拡張整備
平成29年3月	醸芳幼稚園増築園舎落成、複合遊具新設、鉄棒更新
平成29年4月	町内4幼稚園(醸芳・睦合・半田醸芳・伊達崎)を統合した新生「醸芳幼稚園」開園
平成29年11月	園舎改修工事(園長室・保健室・渡り廊下新設・職員室改修)、固定遊具更新(ブランコ・ジャングルジム・雲梯)
平成30年4月	複合遊具撤去
令和元年7月	複合遊具「ホタピータワー」設置

【醸芳小学校】

明治 6 年 9 月	字堰上に「公立桑折小学校」創立(木造 45 坪)
明治 9 年 6 月	明治天皇東北巡幸時本校に御小休、木戸孝允「醸芳」揮毫
明治 19 年 4 月	西町に新校舎落成
明治 44 年 12 月	字桑島の現在地に校舎新築(木造 829 坪)
昭和 5 年 4 月	家政女学校併置(昭和 15 年実科高等女学校となる)
昭和 22 年 4 月	桑折町立醸芳小学校と改称、醸芳中学校併置
昭和 28 年 11 月	創立 80 周年記念式、現校歌制定
昭和 33 年 7 月	プール建設落成(10m×25m)
昭和 35 年 4 月	児童数ピーク 833 人
昭和 38 年 9 月	創立 90 周年記念式、県造形教育研究会開催
昭和 40 年 4 月	体育館落成(鉄骨 809 m ²)
昭和 43 年 1 月	センター制完全給食実施、校舎建築始まる
昭和 45 年 1 月	現在の校舎完成(鉄筋 3,239 m ²)
昭和 48 年 10 月	創立 100 周年記念式典挙行(はやぶさ像建立)
昭和 54 年 10 月	優良 PTA として文部大臣表彰
昭和 55 年 11 月	東北造形教育研究大会開催、学研教育賞受賞
昭和 59 年 11 月	東北理科研究大会開催
昭和 62 年 10 月	県体育研究公開、東京端光小との交流始まる(4 月)
昭和 63 年 12 月	県学校体育優良校受賞、全国交通安全優良校受賞
平成 2 年 11 月	県指定国際交流推進研究校公開、中庭造園
平成 7 年 10 月	福島国体(ソフト)開始式に 5・6 年生参加、スポ少サッカー全国大会出場
平成 8 年 11 月	校舎大規模改造第 1 年次完成(普通教室棟)
平成 9 年 11 月	校舎大規模改造第 2 年次完成(特別教室・管理棟)、県小教研社会科研究公開
平成 10 年 2 月	コンピューター 21 台導入
平成 12 年 10 月	醸芳っ子フェスティバル開始、学校評議員導入
平成 13 年 4 月	校地内ビオトープ造成、学校支援ボランティア活動開始
平成 14 年 4 月	ボランティア普及協力校、コンピューター 21 台新調、地域交流センター完成
平成 15 年 10 月	県小教研音楽科研究公開、校庭造成
平成 16 年 2 月	福島夢実現プラン学力向上事業研究公開、航空写真撮影、防球ネット工事
平成 17 年 4 月	学力向上拠点事業(17~19 年度文部科学省指定)、情緒障害学級設置、安全ネット ワーク会議設立
平成 21 年 4 月	プール循環ろ過装置設置、校内インターホン設置
平成 22 年 2 月	各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業、地域交流センター避難所開放
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去 [~7 月]
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 5 月	花壇・栽培園の表土除去、プール・校舎内(ベランダ・バルコニー等)・体育館周り・ 遊具等の除染 [~8 月]
平成 24 年 10 月	県小教研国語科研究公開
平成 25 年 5 月~	「学力向上地域連携事業」推進協力校
平成 25 年 10 月	太陽光発電装置設置・蓄電装置設置
平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校 [~平成 28 年度]
平成 26 年 6 月	校舎・ベランダの手すり等の塗装完了
平成 27 年 8 月	登り棒設置、体育館玄関引き戸交換
平成 28 年 8 月	体育館北側汚染土撤去及び駐車場整備
平成 29 年 4 月	かやの実(知的)学級設置、「学びのスタンダード」推進事業パイロット校指定
平成 30 年 4 月	まなびかた教室設置、「学びのスタンダード」推進事業パイロット校指定(第二年次)
平成 30 年 9 月	創立 145 年記念式
令和元年 4 月	「学びのスタンダード」推進事業パイロット校指定(第三年次)
令和 3 年 2 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)

【睦合小学校】

明治 7 年 8 月	慈雲寺に成田・松原村組合立成田小学校開設
明治 7 年 9 月	観音寺に万正寺・平沢村組合立万正寺小学校開設
昭和 14 年 11 月	字堰上の現在地に新校舎完成
昭和 15 年 4 月	児童数ピーク 466 人
昭和 16 年 4 月	睦合村立国民学校と称す
昭和 30 年 1 月	桑折町立睦合小学校と改称
昭和 35 年 3 月	体育館の改築
昭和 39 年 8 月	プール建設落成
昭和 49 年 9 月	創立 100 周年 校旗・校章・校歌制定
昭和 58 年 2 月	現在の校舎完成(1,825 m ²)
昭和 59 年 11 月	町教育委員会指定国語科学習指導法研究公開
昭和 63 年 11 月	町教育委員会指定特別活動(集会活動)研究公開
平成 3 年 1 月	「勉学の誉れ」基本・表彰規程設立
平成 4 年 11 月	小規模学校教育研究協議会会場校となる、学校田で収穫した米で収穫祭
平成 6 年 8 月	創立 120 周年式典挙行
平成 6 年 9 月	校舎裏山に遊歩道設置(PTA 奉仕作業)
平成 7 年 2 月	体育館改築(815 m ²)
平成 7 年 9 月	簡易駐車場完成(プール西側)
平成 8 年 1 月	県書写書道研究会伊達(桑折)大会研究公開
平成 9 年 7 月	校庭西根堰側防球ネット完成、睦合見守隊発足
平成 12 年 3 月	コンピューター12 台導入
平成 12 年 11 月	ソニー教育論文優良賞受賞
平成 15 年 10 月	県連 PTA 連合会長表彰
平成 17 年度	学力パートナーシップ事業研究指定校 [~19 年度]
平成 18 年度	うつくしま田んぼの学校事業指定校 [~20 年度]
平成 22 年 2 月	ふくしま議定書優秀校表彰、各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去 [~7 月]
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 5 月	花壇・校舎裏表土除去、プール・校舎内(ベランダ・バルコニー等)・体育館周り・遊具等の除染 [~7 月]
平成 25 年 5 月~	「学力向上地域連携事業」推進協力校
平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校 [~28 年度]
平成 26 年 5 月	創立 140 周年・現校歌制定 40 周年記念(運動会)
平成 27 年 3 月	災害対応蓄電装置設置
平成 27 年 5 月	校内放送設備更新
平成 28 年 8 月	校庭南側汚染土撤去
平成 29 年 2 月	体力向上優秀校表彰(ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト)
令和元年 7 月	「夏休みの友」児童写真表紙掲載
令和 3 年 2 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)

【半田醸芳小学校】

明治 6 年 4 月	泉田泉秀寺に 9 村連合小学校を開設
明治 22 年 4 月	谷地・北半田・南半田の 3 村合併 北半田小学校へ
昭和 22 年 4 月	六・三制施行により半田村立半田小学校と改称、校歌制定
昭和 25 年 4 月	児童数ピーク 721 人
昭和 30 年 1 月	桑折町立半田醸芳小学校と改称
昭和 48 年 7 月	創立 100 周年記念式典挙行
昭和 49 年 11 月	学校給食優良校として文部大臣表彰
昭和 51 年 10 月	交通安全優良校として県表彰
昭和 63 年 1 月	新校舎建築のため講堂・プール跡地に校地を造成する
昭和 63 年 3 月	よい歯の学校優良校として県歯科医師会表彰
昭和 63 年 8 月	学校安全優良校として学校健康センター表彰
平成元年 3 月	現在の校舎完成(校舎 3,301 m ² ・体育館 972 m ²)
平成 2 年 5 月	新校舎落成式、プール完成(3 月)
平成 2 年 9 月	校舎周辺舗装、教材園・花壇・南側植栽完成、交通安全優良校として東北管区警察局表彰
平成 3 年 6 月	飼育舎完成
平成 4 年 6 月	校庭遊具整備
平成 8 年 5 月	マーチングバンド用ユニフォーム購入
平成 8 年 6 月	よい歯の学校優良校として県歯科医師会表彰
平成 10 年 4 月	緑の少年団結成
平成 11 年 3 月	コンピューター 21 台導入
平成 11 年 11 月	花いっぱいコンクールで最高賞(県知事賞)
平成 12 年 9 月	半田山に学校林設置
平成 15 年 5 月	「創立 130 周年記念大運動会」開催
平成 18 年 1 月	子ども見守り隊発足
平成 22 年 2 月	各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 22 年 10 月	体育館屋根修理
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業、体育館避難所開放、太陽光発電装置設置
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去 [~7 月]
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 5 月	花壇・栽培園の表土除去、プール・校舎内(ベランダ・バルコニー等)・体育館周り・遊具等の除染 [~8 月]
平成 25 年 4 月	校庭遊具塗装
平成 26 年 5 月	低鉄棒設置
平成 25 年 5 月~	「学力向上地域連携事業」推進協力校
平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校 [~28 年度]
平成 27 年 3 月	災害対応蓄電池室設置
平成 28 年 8 月	校庭汚染土校外撤去並びに校庭周辺フェンス設置 [~9 月]
平成 29 年 11 月	ふくしんこども応援賞最優秀賞受賞
令和 3 年 2 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)

【伊達崎小学校】

明治 5 年 10 月	大林寺に小学校開設
明治 6 年 9 月	宮内に校舎新築移転
明治 26 年 6 月	伊達崎尋常小学校と改称
昭和 3 年 5 月	現在地に新校舎落成
昭和 15 年 4 月	児童数ピーク 626 人
昭和 16 年 4 月	国民学校令公布 伊達崎村立国民学校と改称
昭和 30 年 1 月	桑折町立伊達崎小学校と改称
昭和 39 年 6 月	プール完成
昭和 40 年 10 月	県教委指定体育学習指導研究公開
昭和 47 年 10 月	創立 100 周年記念式典挙行
昭和 51 年 8 月	現在の校舎完成(2,175 m ²)
昭和 52 年 1 月	校内放送機器設置、校内カラーテレビ放送開始
昭和 53 年 1 月	屋内体育館完成(670 m ²)
昭和 61 年 3 月	フィールドアスレチック施設設置
平成 4 年 10 月	統計教育文部大臣賞受賞
平成 5 年 4 月	校庭南側歩道及びフェンス設置
平成 8 年 3 月	校庭南側に桜苗木植栽・新型焼却炉設置
平成 9 年 2 月	マーチング・キーボード、ユニフォーム購入
平成 9 年 3 月	保健室・職員室にブラインド設置
平成 11 年 4 月	学校指導協力員制度始まる
平成 12 年 4 月	学校評議員制発足
平成 13 年 3 月	コンピューター13 台導入
平成 13 年 5 月	ビオトープ「どろんこパラダイス」完成、インターネット接続開始
平成 14 年 9 月	体験果樹園「桃の楽園」開園
平成 14 年 10 月	「創立 130 周年記念学習発表会」開催
平成 15 年 12 月	地域イントラネット事業により公共施設との接続開始
平成 17 年 3 月	校庭東側道路拡張
平成 17 年 7 月	ウサギ小屋完成、プール送水管修理
平成 17 年 11 月	校庭東側に植樹
平成 20 年 7 月	校舎耐震・大規模改修工事 [~21 年 12 月]
平成 22 年 2 月	各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 22 年 6 月	校庭全面芝生化(うつくしまグリーンプロジェクト)
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業、体育館避難所開放
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 5 月	花壇・栽培園の表土除去、プール、校舎内(ベランダ等)・体育館周り・遊具等の除染 [~6 月]
平成 24 年 10 月	県小教研国語科研究公開協力校(授業提供・研究発表)
平成 25 年 5 月~	「学力向上地域連携事業」推進協力校
平成 25 年 10 月	太陽光発電装置設置・蓄電装置設置
平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業協力校 [~28 年度]
平成 26 年 10 月	校庭防球ネット設置
平成 27 年 6 月	校庭全面芝生化
平成 28 年 8 月	駐車場汚染土撤去及び整備
令和 2 年 3 月	特別支援学級(わかくさ)設置
令和 3 年 2 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)

【醸芳中学校】

昭和 22 年 4 月	桑折・睦合・半田・伊達崎に各新制中学校創立
昭和 28 年 7 月	字道下に新校舎・体育館落成
昭和 29 年 12 月	桑折・半田を統合、桑折町・半田村組合立醸芳中学校となる
昭和 30 年 8 月	校旗・校歌を制定
昭和 34 年 10 月	33・34 年度文部省指定産業教育(職業家庭)研究発表
昭和 35 年 11 月	創立 10 周年記念式典挙行
昭和 36 年 4 月	睦合・伊達崎を統合・校舎増築、桑折町立醸芳中学校となる
昭和 37 年 11 月	優良 PTA として県教育委員会表彰
昭和 38 年 8 月	プール完成(25m×15m・8 コース)
昭和 40 年 4 月	統合後の生徒数ピーク 1,140 人、特殊学級を開設
昭和 42 年 10 月	創立 20 周年記念式典挙行
昭和 43 年 1 月	完全給食開始
昭和 51 年 5 月	機械警備ガードマン制導入
昭和 52 年 11 月	TBC こども音楽コンクール東北大会吹奏楽最優秀賞
昭和 54 年 3 月	アンサンブル全国大会金賞(金管四重奏)
昭和 57 年 11 月	56・57 年度文部省指定生徒指導研究発表
昭和 58 年 7 月	県中学校総合体育大会バスケットボール優勝(男子)
平成 2 年 8 月	3 年教室および廊下の腰板修理
平成 3 年 7 月	新校舎建築着工(現在地)
平成 3 年 11 月	東北放送子ども音楽コンクール東北大会優秀校
平成 4 年 6 月	新校舎体育館建築着工
平成 5 年 2 月	新校舎・体育館完成(校舎 6,587 m ² ・体育館 1,752 m ² ・柔剣道場 561 m ²) 現在地字柳下に校舎移転改築
平成 5 年 4 月	コンピューター設置
平成 5 年 12 月	校舎落成式(プール・テニスコート完成)
平成 6 年 11 月	陶芸室完成
平成 7 年 3 月	校舎・プール周辺の舗装完成
平成 8 年 1 月	平成 6・7 年度県教委指定書写指導研究発表
平成 9 年 5 月	創立 50 周年記念植樹・記念碑建立(同窓会)
平成 10 年 10 月	平成 9・10 年度文部省指定人権教育公開研究会
平成 10 年 12 月	コンピューター 42 台導入
平成 11 年 4 月	新制服制定(新入生よりエコ製品採用)、インターネット回線接続
平成 11 年 10 月	PTA 基金事業除幕式、オルゴール放送設備の設置、生活活動記録掲示板の設置、 校歌歌碑移転
平成 13 年 3 月	屋外大時計設置
平成 13 年 8 月	東北中学校ソフトテニス大会第 3 位、全日本中学校ソフトテニス大会出場 2 回戦 進出
平成 14 年 4 月	新教育目標設定、インターネット光ファイバー回線接続
平成 15 年 8 月	野球グラウンド内野全面改修
平成 18 年 10 月	中学校教育研究会県大会特別活動部会
平成 20 年 10 月	東北放送こども音楽コンクール東北大会管楽合奏優秀賞
平成 21 年 10 月	東北放送こども音楽コンクール東北大会最優秀賞サクソ五重奏
平成 22 年 2 月	各学年教室に電子黒板付テレビ設置
平成 23 年 3 月	東日本大震災発生以降臨時休業、太陽光発電装置設置
平成 23 年 6 月	放射線量低減化のため校庭の表土除去
平成 23 年 8 月	教室環境改善のためのエアコンの設置
平成 24 年 6 月	グラウンド斜面・プール・校舎内(ペランダ・バルコニー等)・玄関前・体育館・テニ スコート周り等の除染 [~7 月]
平成 25 年 5 月~	「学力向上地域連携事業」推進拠点校
平成 25 年 11 月	平成 25 年度放射線教育推進支援事業実践協力校として授業公開

平成 26 年度	学力向上のための「つなぐ教育」推進事業拠点校 [~28 年度]
平成 27 年 3 月	災害対応蓄電装置設置
平成 29 年 1 月	テニスコート人工芝全面張替
令和 3 年 2 月	GIGA スクール構想による ICT 環境整備(1 人 1 台タブレット設置完了)

3 歴代校長名簿

醸芳小学校		睦合小学校		伊達崎小学校		醸芳中学校	
1	梅津 清平 M 6~	51	伊藤 好幸 H27~	14	清野 一郎 S 2~	22	高玉 良助 T13~
2	黒井小源太 M 9~	52	木村 政文 H29~	15	金澤 武夫 S 8~	23	菅野 勝美 T15~
3	堀 退 蔵 M10~	53	高野 孝男 H31~	16	小松 光治 S15~	24	三浦 寛一 S 8~
4	保山 清 M11~	54	遠藤 和宏 R 4~	17	上田 盈 S16~	25	近藤 景助 S14~
5	堀 退 蔵 M12~	1	石田 弼常 M32~	18	高橋 廣記 S19~	26	塩田 柘雄 S18~
6	永井 道忠 M14~	2	鹿山 林造 M33~	19	蔭山 亮心 S21~	27	安部 丑亥 S21~
7	阿部徳次郎 M15~	3	佐藤 祐蔵 T10~	20	西 恭 三 S27~	28	鈴木 正孝 S22~
8	佐川 重善 M16~	4	佐藤 勘六 S 1~	21	五十嵐秀夫 S34~	29	鈴木 正一 S24~
9	若山 直章 M18~	5	横山 繁治 S 4~	22	大谷 香 S39~	30	古川松太郎 S30~
10	佐川 重善 M19~	6	伊達 忠 S15~	23	古川 安之 S41~	31	内池 謙三 S36~
11	斎藤 重太 M19~	7	上田 信蔵 S17~	24	黒羽 健三 S43~	32	黒羽 健三 S40~
12	門間 貞蔵 M20~	8	豊島 桂一 S22~	25	泉 幸 一 S47~	33	安 斎 武 S43~
13	加藤 隆瑞 M21~	9	鈴木 正恵 S26~	26	熊坂 修一 S49~	34	菅野 甫 S46~
14	常見 甫 M27~	10	氏家久仁夫 S34~	27	宍戸 成男 S53~	35	鈴木 保男 S51~
15	加藤 隆瑞 M31~	11	大谷 香 S36~	28	大杉 光夫 S56~	36	八島 完 S57~
16	天野 景明 M31~	12	古川 安之 S39~	29	猪俣 好巳 S60~	37	長根 智 S62~
17	山崎 朋之 M33~	13	山川 和二 S41~	30	高山 胤能 H 1~	38	大竹 英智 H 2~
18	武川 教義 M36~	14	油井 悦治 S43~	31	小平 光雄 H 4~	39	戸井田 健 H 5~
19	加藤友之助 M39~	15	佐藤 弘 S49~	32	佐藤 洋一 H 7~	40	松浦 常雄 H 7~
20	松井 秀英 M40~	16	半澤 正 S52~	33	石岡 恒憲 H 9~	41	小澤 富雄 H 9~
21	今野甚三郎 T 2~	17	鈴木 子郷 S54~	34	飯塚 哲 H11~	42	角田 俊雄 H13~
22	岡山幸太郎 T 6~	18	山本 昌行 S59~	35	村上 幸男 H15~	43	菱沼 一良 H17~
23	大木喜代之進 T11~	19	長谷川壽子 S63~	36	佐藤 吉則 H18~	44	高橋 徹 H20~
24	船木善四郎 T12~	20	熊耳 昭壽 H 3~	37	山内 雄和 H21~	45	丹治 睦雄 H23.8~
25	仲村辰四郎 T15~	21	三浦 哲夫 H 5~	38	伊藤 好幸 H24~	46	坂本 貴洋 H25~
26	前川 三省 S 5~	22	安倍 幸夫 H 8~	39	福士 久子 H27~	47	宮内 憲司 H28~
27	草野 佳政 S 7~	23	中川 源美 H10~	40	宍戸 広子 H29~	48	半澤 正保 H30~
28	菅野 圓蔵 S 9~	24	渡邊 和夫 H12~	41	遠藤 和宏 R 2~	49	大木 修 R 2~
29	三浦 寛一 S16~	25	大橋 芳光 H14~	42	五十嵐洋之 R 4~	50	佐藤 浩哉 R 4~
30	紺野長四郎 S18~	26	我彦 武 H17~	伊達崎小学校		醸芳中学校	
31	佐藤庄左衛門 S19~	27	菊池 淳 H20~	1	宍戸 遵 M 5~	1	高田哲太郎 S25~
32	遠藤 經 S21~	28	菅野 敦子 H22~	2	西山 正躬 M 6~	2	岩谷 唯近 S29~
33	武藤 昌 S30~	29	五十嵐正彦 H25~	3	渥美 榮蔵 M11~	3	遠藤 力 S40~
34	佐久間武善 S36~	30	大槻 誠 H28~	4	本多 定積 M12~	4	遠藤 伊雄 S46~
35	五十嵐秀夫 S41~	31	旗野 宣久 H31~	5	小澤正太郎 M13~	5	黒羽 健三 S48~
36	原田 貞 S50~	32	岩井 智哉 R 3~	6	大鷹三之助 M13~	6	萩原 盛良 S52~
37	古山 直一 S53~	半田醸芳小学校		7	堀 捨次郎 M14~	7	黒須 撰三 S54~
38	目黒 衛 S56~	1	大波 廣吉 M22~	8	室原 啓三 M15~	8	大友 寛 S57~
39	佐藤 弘 S59~	2	佐久間兼蔵 M24~	9	末永 敬明 M17~	9	須永 英次 S60~
40	松田 源治 S60~	3	菅野 忠夫 M29~	10	柚原 勉 M18~	10	大草 榮治 H 2~
41	鴨田 喜夫 H 1~	4	志賀 敏 M34~	11	永井延次郎 M20~	11	紺野 明男 H 5~
42	永井 俊博 H 3~	5	愛澤辰次郎 M36~	12	猪城徳二郎 M21~	12	田中 民二 H 7~
43	大竹 英智 H 5~	6	藤本 春児 M38~	13	石上三郎平 M22~	13	菅野金四郎 H10~
44	佐藤 榮壽 H 7~	7	三木常次郎 M42~	14	長澤清太郎 M27~	14	武田 正昭 H15~
45	矢葺 光政 H10~	8	佐藤子之松 T 1~	15	加藤 丈吉 M29~	15	湯田 健一 H17~
46	石岡 恒憲 H13~	9	安藤 保蔵 T 4~	16	瀬谷市太郎 M34~	16	鈴木喜三郎 H20~
47	古宮 睦男 H17~	10	宮崎喜三郎 T 6~	17	木幡 次郎 M40~	17	蓬田 吉穂 H25~
48	村上 幸男 H20~	11	井上鉄次郎 T 9~	18	一條 七蔵 M42~	18	神野 與 H27~
49	高橋 徹 H23.8~	12	清信留之助 T11~	19	野地 榮 T 3~	19	大木 修 H29~
50	会田 智康 H25~	13	斎藤 芳夫 T12~	20	仲村辰四郎 T 9~	20	石綿 厚 R 2~
				21	黒澤 眞明 T11~		

4 中学校卒業生の進路状況

■令和3年度 醸芳中学校の進路状況

(令和4年5月1日現在)

学科の種類	学 科	県(国)立	私 立
普通教育を主とする学科	普 通 科	32	9
専門教育を主とする学科	農業に関する学科	3	0
	工業に関する学科	7	2
	商業に関する学科	6	0
	家庭(食物・福祉)に関する学科	0	4
	看護に関する学科	0	2
	情報に関する学科	8	0
	理数に関する学科	2	0
	美術に関する学科	0	3
	外国語に関する学科	0	0
	国際文化に関する学科	3	0
	文理に関する学科	3	4
	スポーツに関する学科	1	0
総合的に施す学科	総 合 学 科	6	1
計		71	25
合 計		96	

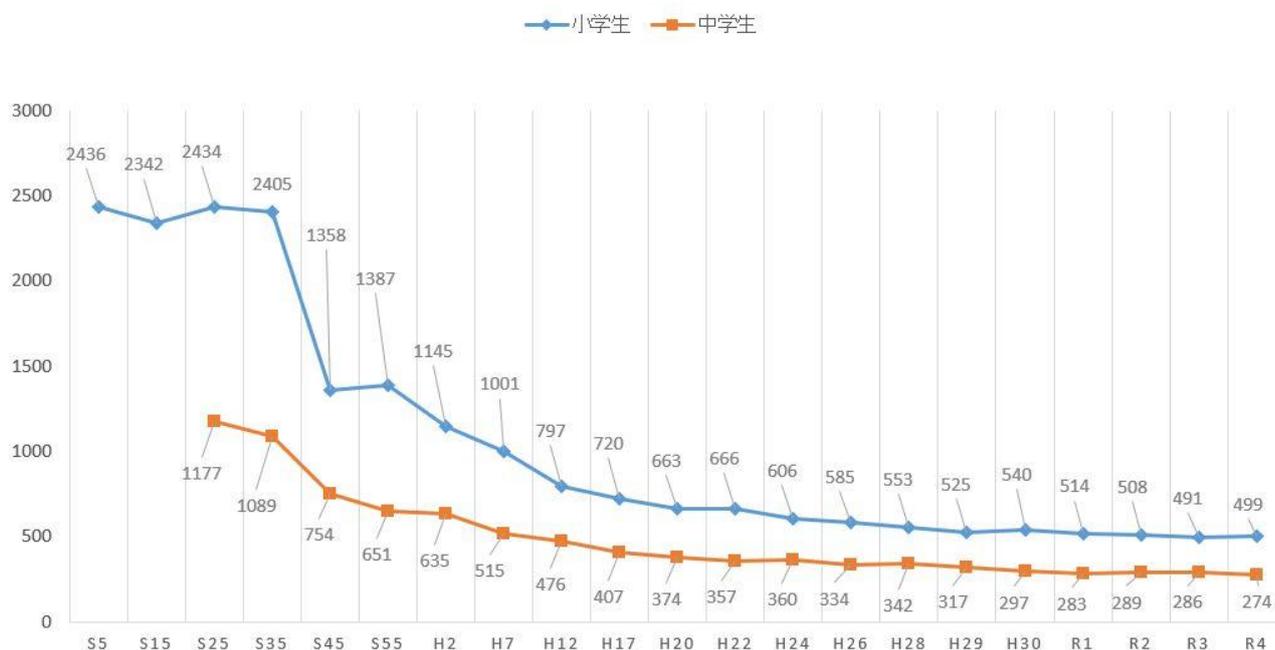
〈参考資料〉

課程	県立高校				私立高校		国立	就職	その他	合計
	全日制	定時制	通信制	特別支援	全日制	通信制				
男	31	0	0	2	11	2	0	0	0	46
女	36	1	1	0	11	1	0	0	0	50
計	67	1	1	2	22	3	0	0	0	96

5 児童生徒数の推移と令和4年度児童生徒数

(令和4年5月1日現在)

児童生徒数の推移



令和4年度児童生徒数

(令和4年5月1日現在)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
男子	44	35	51	35	54	39	36	45	51
女子	40	43	45	39	43	31	46	48	48
計	84	78	96	74	97	70	82	93	99

6 児童生徒の体位

■平均値(令和4年5月)

※全国平均値は令和2年度

年 齢	区 分	身長 (cm)		体重 (kg)	
		男子	女子	男子	女子
6 歳 (小 1)	桑折町	117.7	115.0	22.1	21.6
	全 国	117.5	116.7	22.0	21.5
7 歳 (小 2)	桑折町	122.8	121.1	26.1	22.7
	全 国	123.5	122.6	24.9	24.3
8 歳 (小 3)	桑折町	127.6	127.3	27.5	28.2
	全 国	129.1	128.5	28.4	27.4
9 歳 (小 4)	桑折町	134.2	132.8	31.5	29.5
	全 国	134.5	134.8	32.0	31.1
10 歳 (小 5)	桑折町	140.1	140.2	36.8	34.9
	全 国	140.1	141.5	35.9	35.4
11 歳 (小 6)	桑折町	146.0	146.0	40.4	39.1
	全 国	146.6	148.0	40.4	40.3
12 歳 (中 1)	桑折町	155.5	151.9	51.6	43.3
	全 国	154.3	152.6	45.8	44.5
13 歳 (中 2)	桑折町	160.0	154.5	50.0	47.3
	全 国	161.4	155.2	50.9	47.9
14 歳 (中 3)	桑折町	165.7	156.6	56.1	53.0
	全 国	166.1	156.7	55.2	50.2

■児童生徒の身長・体重の推移（過去5年間）

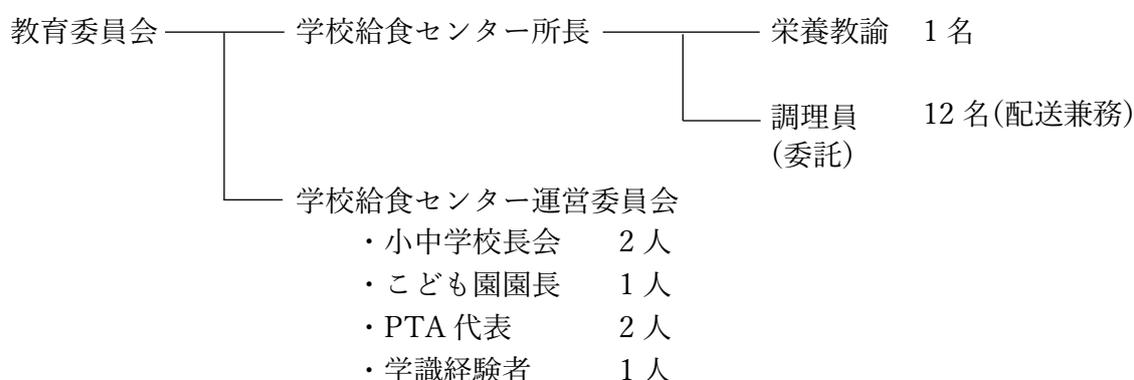
身長（単位：cm）			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
男子	小学校	1年	116.7	117.0	117.2	117.0	117.7
		2年	122.9	122.9	123.0	122.2	122.8
		3年	128.5	128.4	128.2	129.0	127.6
		4年	133.9	134.0	133.4	133.9	134.2
		5年	139.4	140.8	139.1	139.4	140.1
		6年	146.2	145.1	145.7	146.4	146.0
	中学校	1年	153.6	153.2	153.2	152.4	155.5
		2年	161.1	160.5	161.0	161.3	160.0
		3年	165.3	166.5	166.4	166.0	165.7
女子	小学校	1年	115.1	115.2	115.1	114.9	115.0
		2年	121.5	120.3	120.9	121.0	121.1
		3年	126.6	127.7	126.5	127.2	127.3
		4年	134.6	132.0	132.5	133.2	132.8
		5年	140.4	139.6	139.5	139.3	140.2
		6年	148.2	145.4	147.3	146.7	146.0
	中学校	1年	150.9	152.5	151.7	151.5	151.9
		2年	155.3	153.7	155.6	155.3	154.5
		3年	157.0	156.8	155.4	157.1	156.6

体重（単位：kg）			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
男子	小学校	1年	21.7	21.8	21.7	23.2	22.1
		2年	25.3	25.2	25.2	24.4	26.1
		3年	27.1	28.3	27.3	27.9	27.5
		4年	31.7	31.7	32.5	32.9	31.5
		5年	35.3	37.2	34.7	35.1	36.8
		6年	40.6	38.7	40.5	42.9	40.4
	中学校	1年	45.8	44.8	46.1	43.8	51.6
		2年	50.8	50.2	52.6	50.8	50.0
		3年	55.7	54.2	56.1	54.1	56.1
女子	小学校	1年	20.6	21.1	20.5	20.3	21.6
		2年	23.1	23.4	22.8	24.2	22.7
		3年	26.3	26.4	26.4	26.4	28.2
		4年	31.8	29.8	28.9	28.9	29.5
		5年	34.8	34.7	34.5	33.9	34.9
		6年	42.7	38.2	40.9	38.6	39.1
	中学校	1年	45.1	46.3	44.8	43.7	43.3
		2年	49.2	49.1	49.9	49.8	47.3
		3年	52.6	51.8	52.6	50.4	53.0

7 学校給食事業

(1) 学校給食センターの概要

- 名 称 桑折町学校給食センター
- 所在地 〒969-1661 桑折町大字上郡字堰下 45
- 電話・FAX 024-581-0250・024-581-0251
- 敷地面積 3,652 m²
- 建物構造 鉄骨造 一部2階建
- 延床面積 1040.70 m²
- 調理能力 1日2,000食
- 運営組織



(2) 給食の状況

	幼稚園			小学校			中学校			合 計
学校数	1 園			4 校			1 校			6 校
給食人員	237 人			565 人			298 人			1,100 人
年間実施回数	125 回			180 回			184 回			・町内全小中学校幼稚園に提供 ・センター職員も喫食 ・給食費の保護者負担は幼稚園が H23 年度から無料、小中は H30 年度から半額 ・麺は月 2 回で、麺のない週は米飯 4 回(小中) ・米飯はセンター炊飯
給食費(1食)	287 円			292 円			339 円			
給食費年額 (うち保護者負担)	35,875 円 (なし)			52,560 円 (26,280 円)			62,376 円 (31,280 円)			
主食の形態 (週当たり回数)	米飯	パン	麺	米飯	パン	麺	米飯	パン	麺	
	3	1	0	3.5	1	0.5	3.5	1	0.5	

(3) 学校給食センターの沿革

昭和 43 年	1 月	桑折町伊達町国見町三町の学校給食センター方式による小・中学校への完全給食開始
昭和 51 年	4 月	米飯給食を導入
平成 10 年	12 月	バイキング給食を導入
平成 12 年	8 月	桑折町学校給食センター(単町)による小中学校への給食開始 地元農産物導入
平成 13 年	4 月	アレルギー対応食導入
	6 月	セレクト給食導入
	12 月	テーブルマナー給食導入
平成 14 年	4 月	地元産米の導入
平成 23 年	4 月	幼稚園給食費保護者負担無料措置開始
平成 24 年	1 月	食品放射能濃度測定器設置(給食センター用 1 台) 学校給食及び食材等の放射性物質濃度測定開始
平成 25 年	6 月	食品放射能濃度測定器を桑折町役場桑島分庁舎へ移設
平成 26 年	4 月	学校給食調理・配送業務を民間委託
平成 30 年	4 月	小中学校給食費保護者負担半額措置開始
	10 月	塩分量削減の取り組み開始

(4) 施設の概要

① 給食センター本体

(単位：㎡)

階別	面積	内 訳			
1	897.70	玄関・ホール	15.00	前室	34.58
		事務室	41.70	調理室	199.60
		トイレ	10.00	サラダ室	16.40
		検収室	31.20	洗浄室	199.40
		下処理室	35.28	厨芥処理室	8.00
		食品庫	12.63	コンテナ室	102.00
		冷凍庫	7.41	廊下	51.00
		米庫	16.00	倉庫	12.60
		炊飯室	72.00	機械室	32.90
2	143.00	会議室	32.00	洗濯室	12.00
		男子休憩室	26.00	トイレ	16.00
		女子休憩室	21.50	廊下	35.50
合計	1040.70	※床構造：ドライ方式			

② その他

・車庫：80.00 ㎡

・自転車置場：4.01 ㎡

生涯學習

1 生涯学習関係審議会・機関

【桑折町社会教育委員】 条例により昭和 30 年設置

委員 12 名 任期 2 年（令和 3 年度～令和 4 年度）

氏 名	役 職
石 綿 厚	醸芳中学校長
遠 藤 和 宏	町小中学校長会長（醸芳小学校長）
岡 田 和 人	町 P T A 連絡協議会長
浅 野 隆 良	町文化団体連絡協議会長
山 木 一 芳	町スポーツ協会会長
青 柳 良 憲	学識経験者
渡 邊 美 昭	町社会福祉協議会常務理事
山 室 芳 子	「地域クラブ」協力ボランティア代表
林 王 直 美	ファミリー文庫「ら・みるく」代表
岡 崎 忠 一	総合型地域スポーツクラブ会長
阿 部 公 嗣	「夢ほたる・こおり」事務局長
亀 岡 和 美	前地域学校協働活動推進員

【桑折町スポーツ推進委員会】 条例により昭和 34 年設置

委員 7 名 任期 2 年（令和 3 年度～令和 4 年度）

氏 名
山 木 一 芳
大 谷 葵
金 野 麻 衣
渡 辺 重 子
塩 谷 靖 夫
蓬 田 勝 徳
関 根 正

【桑折町文化財保護審議会】 条例により昭和 51 年設置

委員 9 名 任期 2 年（令和 4 年度～令和 5 年度）

氏 名	役 職
吉 田 良 典	観音寺住職
鈴 木 文 夫	桑折町郷土史研究会会長
渋 谷 浩 一	桑折町商工会長
笠 松 金 次	歴史研究家
斉 藤 純 雄	元桑折町史編纂専門委員
青 柳 良 憲	桑折町文化財保存会長
半 澤 章	桑折町歴史案内人
佐 藤 伴 美	無能寺住職
佐 藤 耕 三	元福島県教育庁文化財課副課長

2 生涯学習関係団体

【桑折町青少年育成町民会議】昭和 57 年発足

会 長 高橋 宣博（町長）

副会長 本間 英樹、羽田 美恵子、佐藤 久仁夫、渡邊 健児

【桑折町スポーツ協会】昭和 42 年発足

会 長 山木 一芳

副会長 竹中 綾子、塩谷 靖夫

加盟団体：種目団体 17 団体

スポーツ少年団 7 種目

【桑折町スポーツ少年団】昭和 46 年発足

本 部 長 伊藤 好幸（中央公民館長）

副本部長 岡田 和人

加盟団体：7 種目

【桑折町文化団体連絡協議会】昭和 50 年発足

会 長 浅野 隆良

副会長 大野 俊昭、大槻 純子

3 生涯学習関係施設一覧

【公民館施設一覧】

区分	公民館名	電 話	所 在
中央公民館	中 央 公 民 館 (イコーゼ!内)	582-3129	〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 20-1
	中央公民館分室 (遊学館「よも～よ」)	582-5388	〒969-1643 桑折町大字谷地字道下 6-1
地区館	桑 折 公 民 館 (桑折町民会館)	582-2564	〒969-1613 桑折町字桑島三 103
	睦 合 公 民 館 (睦合ふれあい会館)	582-2468	〒969-1652 桑折町大字成田字坊ノ内 19-1
	伊 達 崎 公 民 館	582-4313	〒969-1662 桑折町大字下郡字堂ノ前 11-1
	半 田 公 民 館 (半田コミュニティセンター)	582-3121	〒969-1641 桑折町大字南半田字八反田 10-1

【体育施設一覧】

区分	施設名	電話	所在
複合施設	屋内温水プール・多目的スタジオ	582-3129	〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 20-1
体育館	町民体育館	582-3713	〒969-1661 桑折町大字上郡字林泉寺前 1-1
テニスコート	桑折テニスコート		〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 25-1
運動場	町民運動場		〒969-1661 桑折町大字上郡字弁慶 1

【文化施設一覧】

施設名	電話	所在
桑折町文化記念館	582-5507	〒969-1617 桑折町字陣屋 12

【その他の施設】

施設名	所在
桑折町地域交流センター	〒969-1617 桑折町字桑島二 21-1

4 社会教育・スポーツ関係沿革

- 昭和22年 桑折・睦合・半田・伊達崎公民館条例を制定し、各公民館を設置。
- 昭和24年 社会教育法公布。桑折町公民館県表彰。
- 昭和25年 第1回成人式挙行。伊達崎公民館に保原高校季節別学級設置。
- 昭和27年 松原公民館新築。青年学級・婦人学級・成人学級開設。
- 昭和29年 半田公民館新築及び県表彰。
- 昭和30年 町村合併により桑折町桑折・睦合・半田・伊達崎公民館と改称、公民館条例制定。
- 昭和31年 桑折婦人学級開設（文部省委嘱）松原公民館県表彰。
- 昭和32年 旧桑折町役場庁舎に桑折公民館移転。
- 昭和33年 醸芳高校伊達崎分室設置。
- 昭和34年 桑折町公民館使用料条例を制定。
- 昭和36年 地区青年学級4学級を中央青年学級1学級とする。
- 昭和38年 桑折町公民館連絡協議会発足。第1回如月杯囲碁将棋大会開催。
- 昭和39年 各公民館に家庭教育学級開設。
- 昭和40年 各公民館の運営審議会を中央1本に統一。農村青年教室開設。
- 昭和41年 公民館機能を整備し、本館館長に教育長が就任。地区館長を兼務。
公館剣道場を桑折公民館に開設、第1回桑折町・国見町剣道大会開催。
第1回文化祭開催。農村建設班開設。
- 昭和42年 機構改革により公民館を統合し、桑折町公民館と改め、地区館を分館に、分館を部落館とする。
文化講座開設。桑折町体育協会発足。
- 昭和45年 青年学級3コース制（農業専修・社会教養・家庭）とする。
委嘱婦人学級県表彰。
- 昭和46年 桑折町スポーツ少年団本部設置。桑折町青年会発足。
- 昭和47年 福祉センター完成、桑折町公民館は入る。
- 昭和48年 町民運動場完成、町民運動場条例制定。第1回大字対抗350歳ソフトボール大会開催。
- 昭和49年 町民体育館完成、町民体育館条例制定。第1回ふるさとの遊び講習会及び大会開催。
第1回館長杯争奪バレーボール大会開催。
- 昭和50年 優良公民館として県教委表彰。企業内青年学級2学級開設。
幼児家庭教育学級開設。スポーツ振興審議会条例制定。
文化団体連絡協議会発足。
- 昭和51年 町民プール完成。町民プール条例制定。優良公民館として文部大臣表彰。
桑折町社会教育振興計画策定。
桑折町体育協会を組織替えし、桑折町スポーツ協会と名称を変更。
- 昭和52年 第1回町民運動会開催。
- 昭和53年 児童向け図書巡回貸し出し開始（睦合・半田）。第1回少年ソフトボール大会開催。高齢者学級を高齢者大学・大学院制に改める。桑折町スポーツ協会県教委表彰。
- 昭和54年 母と子の公民館活動（親子読書教室）開設。
第1回桑折町・国見町マラソン大会開催。
- 昭和55年 公民館剣道道場をスポーツ少年団に全面移管。
日独スポーツ少年団同時交流受け入れ。
- 昭和56年 ふるさと少年教室開設。高校生地域活動事業開設。婦人リーダー教室開設。桑折町青年団体連絡協議会発足。
桑折町公民館を改築、桑折町民会館として完成（桑折公民館併設）。
- 昭和57年 桑折町青少年育成町民会議発足。青少年育成地区懇談会開催（20ヶ所）。明日の親のための教室設。
- 昭和58年 桑折町スポーツ協会文部大臣表彰。婦人ボランティア学級開設。
日独スポーツ少年団同時交流を受け入れ（2回目）。

- 学校開放事業「屋外運動場照明施設」伊達崎小学校に設置。
下成田集会所に（昭和 53 年完成）睦合公民館が入る。
- 昭和 59 年 高齢者教育促進会議・高齢者ボランティア教室開設。町内一周駅伝競走大会開催。360 歳ソフトボール大会をスローピッチ 450 歳ソフトボール大会に改称。
- 昭和 60 年 桑折町合併 30 周年記念行事を開催。第 31 回全日本一般男子ソフトボール大会開催。青年ボランティアグループ「紙風船」県表彰。アジア地域スポーツ交流事業を実施（マレーシアと交流）。
- 昭和 61 年 中高年教育講座ナイスライフ教室開設。半田コミュニティセンター完成、半田公民館が入る。桑折勤労者体育センター完成。
桑折町文化団体連絡協議会設立 10 周年記念式典挙行。
- 昭和 62 年 桑折町スポーツ協会設立 20 周年記念式典挙行。
日独スポーツ少年団同時交流受け入れ（3 度目）。
- 昭和 63 年 伊達崎公民館完成。少年リーダー（中学生）研修会開設。
第 15 回東北総合体育大会（なぎなた競技）開催。
第 41 回福島県総合体育大会ソフトボール（成年 2 部）開催。
- 平成 元年 第 16 回福島県ゲートボール大会開催。第 3 回全日本クラブ男子ソフトボール普及大会開催。国際理解を深める少年教室開設。
桑折町スポーツ少年団日本スポーツ少年団表彰。
- 平成 2 年 桑折町民テニスコート・クラブハウス完成。伊達崎女性講座開設。
第 2 回福島県縦断駅伝競走大会初出場。
ふくしま国体桑折町準備委員会発足。
- 平成 3 年 L・Aクラブ（青年学級）開設。半田コミュニティセンター・伊達崎公民館管理人を常駐にする。ふれあいコミュニティー広場完成。半田コミュニティセンター駐車場舗装工事施工。
- 平成 4 年 桑折町スポーツ協会を桑折町体育協会に名称変更。
- 平成 5 年 睦合テニスコート完成。第 50 回国民体育大会ソフトボール競技リハーサル大会開催。第 1 回熟年女子バレーボール大会開催。
ふれあい公園完成。町民運動場夜間照明設備完成。
- 平成 6 年 日本男子ソフトボールリーグ 2 部第 3 節桑折大会を開催（国体開始式リハーサル）。
- 平成 7 年 第 50 回国民体育大会ソフトボール競技成年 2 部を開催。
桑折町文化団体連絡協議会設立 20 周年記念式典挙行。
- 平成 8 年 町公民館条例を改正、本館の名称を中央公民館に改め、分館制度を廃止する。
- 平成 9 年 伊達崎公民館に自転車置場設置。
- 平成 11 年 睦合ふれあい会館完成、睦合公民館が入る。各地区公民館に館長（社会教育指導員）を設置。各地区公民館の管理運営等を統一。
- 平成 13 年 子ども情報誌を作成するための「伊達地区子どもセンター」設置。
- 平成 14 年 児童・生徒が休日を有意義に過ごすためにボランティア指導者による「こおり地域クラブ」を開設。
「持ち込み講座」開設。ブックスタート事業実施。
桑折町スポーツ少年団結成 30 周年記念式典挙行。
- 平成 15 年 事務機構改革により中央公民館に生涯学習課を設置。
成人教室「町民カレッジ」を開設。家庭教育学級「親子教室」を開設。
桑折勤労者体育センター条例改正、名称を桑折町民第 2 体育館とする。
- 平成 16 年 青少年の体験活動・ボランティア活動を積極的・効果的に推進するために「桑折町体験活動・ボランティア活動支援センター」を中央公民館内に設置。コーディネーター 1 名を配置。
「桑折町生涯学習推進基本計画」策定。
中央公民館外装改修塗装工事施工。
幼児用プール防水塗装改修工事施工。
- 平成 17 年 少年教室「こおりキッズスクール」を開設。
町民プール防水工事施工。

- ふれあい公園整備工事施工。
- 桑折町文化団体連絡協議会設立 30 周年記念式典挙行。
- 平成 18 年 各地区公民館長（社会教育指導員）を各館 1 名、計 4 名体制から、2 館 1 名、計 2 名体制となる。各公民館に夏休み学習室開設。
- 平成 19 年 睦合・半田・伊達崎公民館に休館日（毎週月曜日）を設ける。
成人教室「町民カレッジ」を「こおり友遊くらぶ」に改名。
中央公民館に図書学習室を新設。
公民館・体育館関係条例を改正し、使用料を見直す。
- 平成 20 年 第 20 回全国生涯学習フェスティバルが開催。桑折町も見本市に出展。
- 平成 21 年 学校支援地域本部事業に取り組む。
- 平成 22 年 総合型地域スポーツクラブ「マルベリーこおり」が設立する。
第 52 回全国社会教育研究大会福島大会に参加。
中央公民館及び町民体育館の耐震補強計画を策定。
- 平成 23 年 東日本大震災により桑折町は震度 6 弱の震度を観測。甚大な被害が発生した。町民体育館は危険により閉鎖、中央公民館大ホールはステージと天井に被害を受け閉鎖する。また、福島第一原子力発電所の事故の影響により、町民プールの開設を見送る。
- 平成 24 年 中央公民館は東日本大震災被害及びアスベスト材使用が確認され休館となる。その間桑折公民館へ事務所を移す。
町民体育館は修繕不能のため解体。
- 平成 25 年 図書機能充実のため、民間の遊休施設を借り上げて、中央公民館分館（遊学館「よも～よ」）を設置。
中央公民館や町民体育館が使用不能となったことで、町民の活動に支障を来していることから、他施設の一部利用者の使用料を当分の間免除扱いとなる。
中央公民館解体撤去。
種徳美術館再開。旧伊達郡役所保存修理事業完了。
- 平成 26 年 姉妹都市交流事業として、エリザベスタウン市への訪問団派遣を再開。
町民運動場バックネット裏屋根工事施工。
睦合公民館維持管理工事施工。
- 平成 27 年 桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ！」完成、同条例制定。
「桑折町生涯学習推進基本計画（第 2 次）」策定。
- 平成 28 年 「イコーゼ！」内に、屋内遊び場開設。
国道 4 号施設案内標識を掛け替え。
- 平成 29 年 「中央公民館長」を専任配置。
「ふれあい公園」内に、屋根付屋外ステージ「ピーチウィング」完成。
- 平成 30 年 桑折町体育協会設立 50 周年記念式典挙行、同記念誌発行。
桑折町体育協会の名称を「桑折町スポーツ協会」に変更。
- 平成 31 年 桑折町体育施設条例及び桑折町屋内温水プール・多目的スタジオ条例の一部を改正し、使用料を見直す。
- （令和元年） 「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催。
「桑折西山城復元祭」を開催。
- 令和 2 年 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業の中止・延期・縮小を余儀なくされる。各地区公民館長を専任配置（桑折地区を除く）。
全国山城サミット桑折大会プレ大会「桑折西山城ライブ 2020」を開催。
睦合テニスコート廃止。
福島県沖地震（R3.2.13）により、睦合公民館、町民体育館、旧伊達郡役所、種徳美術館が被災し、一時休館となる。
- 令和 3 年 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業の中止・延期・縮小を余儀なくされる。
桑折町中央公民館に公民館運営推進員（2 名）を配置。

全国山城サミット桑折大会を開催。

福島県沖地震（R4.3.16）により、睦合公民館、町民体育館、旧伊達郡役所、種徳美術館が被災し、一部の施設で一時休館となる。

資料編

これは、令和4年度から10年間のまちづくりについての計画「桑折町総合計画」との関連を図りながら策定した、今後10年間の桑折町の教育計画の概要です。本計画の柱となるのが、**教育理念**・**めざす子ども像**と、それを実現するための**基本的な視点**をまとめた「桑折町の15歳のめざす姿」です。さらに、それぞれの基本的な視点に基づいて**具体的な施策**を計画し、実施していきます。

教育理念・めざす子ども像（その1） 「人間としての基本」とは、知・徳・体の基礎（確かな学力、豊かな人間性、健康・体力）であり、「人間としての強み」とは、豊かな感性・主体性・思考力・創造力です。これを育成することが教育の普遍的使命であり、時代を超えても変わらない教育の「不易（ふえき）」です。

教育理念・めざす子ども像（その2）

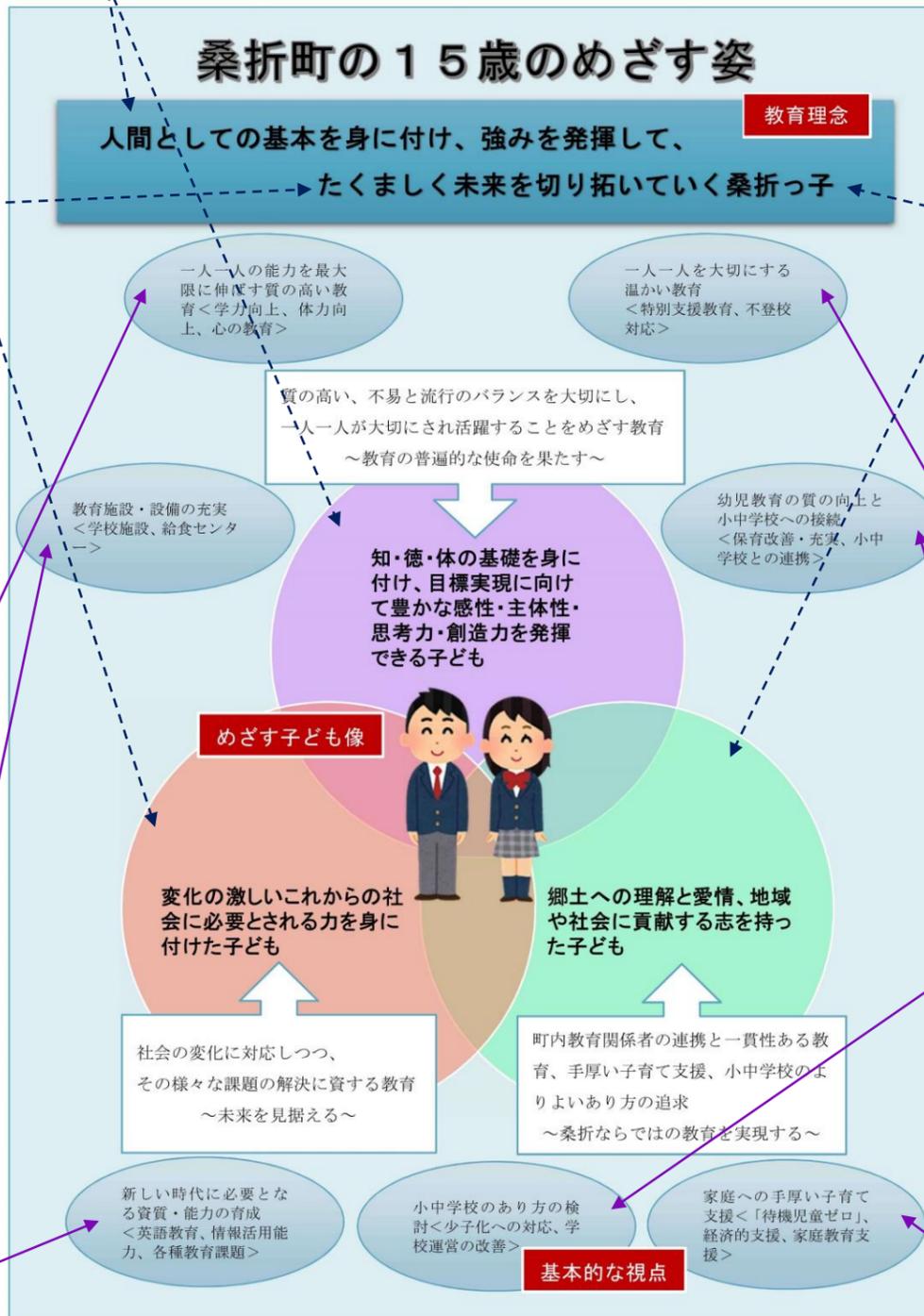
「たくましく未来を切り拓いていく」ためには、変化の激しいこれからの社会に必要とされる力を身に付け発揮することが求められます。これを育成することが未来を見据える教育を行うことであり、時代によって変わっていく教育の「流行」です。

教育理念・めざす子ども像（その3）

「桑折っ子」は、郷土への理解と愛情、地域や社会に貢献する志を持った子どものことです。これを育成することが地域に根ざした教育、桑折ならではの教育を行うことです。

桑折町の15歳のめざす姿

人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、
たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子



令和4年度の重点

具体的な施策

- ◆ 脳科学研究に基づく生活習慣改善、読み・書き・計算徹底反復、探究型授業による主体的・対話的で深い学びの実践、家読奨励、桑折学習塾
- ◆ 「早寝・早起き・朝ごはん」町民運動の推進、給食を活用した食育、運動身体づくりプログラム、運動継続の1校（園）一実践、地域スポーツとの連携
- ◆ 不登校・いじめ対策、規律・礼節の重視、体験活動・平和学習・キャリア教育の充実、ふるさと教育（西山城見学など）の拡充
- ◆ 学校施設・設備について、長期的な維持・管理・整備計画の作成
- ◆ 給食センター施設・設備の計画的な維持・管理・整備、今後の管理・運営のあり方の検討
- ◆ 英語指導助手・指導協力員の活用、英検受験奨励・費用助成、英語体験活動の実施
- ◆ 1人1台端末と高速大容量通信ネットワークを常時活用する授業、家庭でもつながる通信環境を活用するオンライン授業や家庭学習、ICT支援員配置・活用と教職員研修、ICT教育環境の整備と充実
- ◆ 防災・安全教育、持続可能な開発のための教育、感染症対策も含む健康教育

令和4年度の重点

- ◆ 特別支援学級・通級指導教室・特別支援教育支援員の活用、関係機関との連携による切れ目のない支援体制の確立
- ◆ 不登校が起きない学級・学校づくり、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用による教育相談体制づくりと家庭への支援、教育支援センター等による教育機会確保と学校復帰支援
- ◆ 保育改善・充実に向けた研修会や視察の拡充
- ◆ 保育所・幼稚園・小学校・中学校の合同保育・授業研究会、幼児・児童・生徒の交流活動
- ◆ 学校小規模化の現状と今後の推移についての把握と分析、小学校統合についての様々な観点からの検討
- ◆ 小中一貫教育やコミュニティ・スクールの導入などの検討、学校における働き方改革の推進
- ◆ 保育所や預かり保育の「待機児童ゼロ」を堅持していくための受け入れ体制の整備
- ◆ 給食費助成・制服贈呈・就学援助・奨学資金貸与・病児病後児保育利用料助成
- ◆ 参考図書配付や家庭教育講演会開催による家庭の教育力向上支援、情報提供や相談体制整備、子育て支援施策についての情報発信の強化

令和4年度 醸芳保育所 所経営・運営ビジョン

【目指す保育所像】

～笑顔と歓声あふれる保育所～

- ◆子どもも保育士も生き生きと活動している保育所
- ◆人々が親しみ、和やかさを醸し出されている保育所（保護者に寄り添った保育所）
- ◆様々な遊びを誘発する新鮮で清潔な環境の保育所

【目指す保育士像】

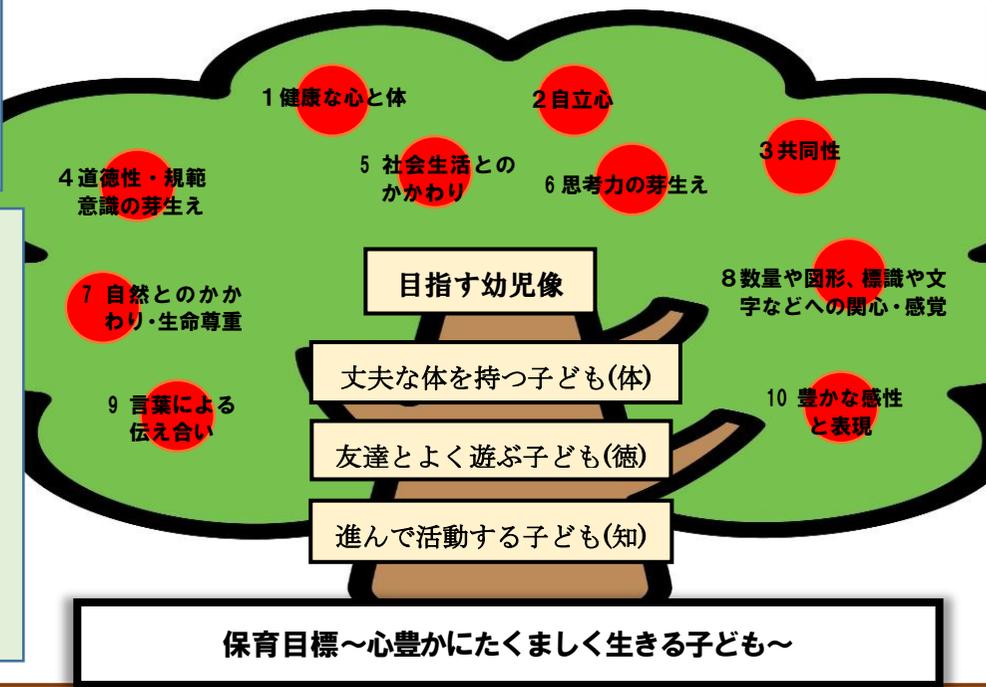
- ◆社会人としての自覚を持つ保育士
モラルやルール、マナーを身に付けている
- ◆心身ともに健康な保育士
困難に負けない精神力と体力を身に付けている
- ◆保育目標を達成するために同僚性を持つ保育士
組織の一員として役割を果たそうとする
- ◆専門性の研鑽を積む保育士
計画的・組織的なPDCAサイクルの実施
研修等に積極的に参加し多角的な視点で保育にあたる
- ◆個々の特性を生かして保育にあたる保育士
個々の乳幼児理解を深めながら保育する
- ◆人間性豊かな保育士
所を取り巻く様々な人との信頼関係のもと、仕事に真摯に取り組む

【乳幼児の実態】

- ◆母親や家人・保育士に甘えたい気持ちが大い
- ◆受容されることで、安心して過ごす
- ◆生活習慣の一つ一つを保育士と一緒にじっくり取り組む
- ◆経験したことや感じたこと、考えたことを自分なりの言葉や身振りなどで伝えようとしている
- ◆友達や保育士と一緒に遊ぶことを喜んでいる
- ◆絵本やお話を見たり、読んでもらったりすることを好む乳幼児が多い
- ◆幼児自ら積極的に体を動かす姿が見られる

【保護者・地域の願い】

- ◆安全、安心な環境での生活
- ◆基本的な生活習慣の確立
- ◆たくさんの友達との円滑なかかわり
- ◆心身の健やかな成長
- ◆『桑折町の目指す15歳の姿』に向けた素地の形成

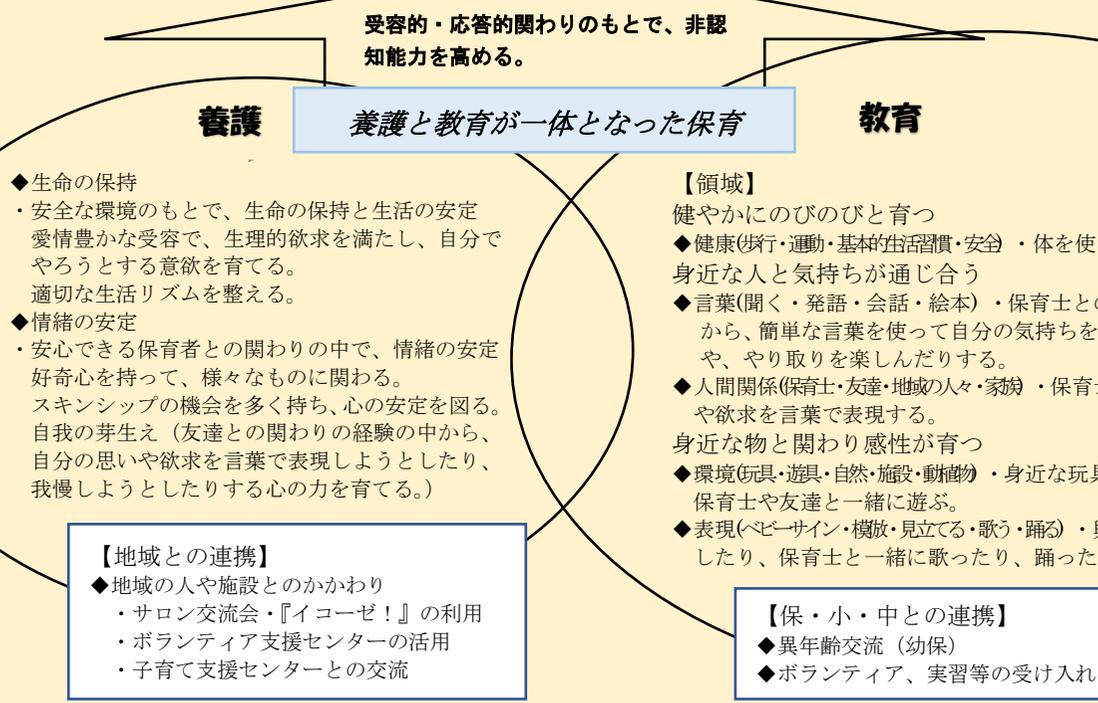


【重点実践事項】

- ◆乳幼児の健康な心と体を育むため、十分に体を動かす心地よさや楽しさを感じ取らせるような保育者のかかわり（配慮や援助）を工夫し、自ら体を動かそうとする意欲を育てる。
- ◆年齢にあった絵本に親しませる環境を工夫し、日々の読み聞かせを行っていくことで、幼児の絵本への興味関心を育てる。
- ◆保育所生活の中で事故なく、健康で、安心して生活できるような環境を提供する。

【その他の事項】

- ◆保護者の養育力につながるよう支援し、家庭との連携を図る。
- ◆自己評価を基本にしなが、保育指導力の向上につながるよう、研修を深め、保育の充実を目指す。
- ◆アレルギー食への対応も行い。ヒューマンエラーを最大限防ぎよう対応する。
- ◆乳幼児の望ましい「家庭生活のポイント」の確立に向けて、家庭との連携を図った取り組み
- ◆新型コロナウイルス感染症の状況をしっかり把握し、常に感染予防に努めた保育を行う。



【食育】

- ◆食事の環境を整備し、食べたいという意欲を育て、食事のリズム・生活リズムを確立する。

- ### 【領域】
- ◆健康(身体・運動)・基本的な生活習慣・安全・体を使った遊びを楽しむ。身近な人と気持ちを通じ合う
 - ◆言葉(聞く・発語・会話・絵本)・保育士との応答的な関わりの中から、簡単な言葉を使って自分の気持ちを表そうとしたり、言葉や、やり取りを楽しんだりする。
 - ◆人間関係(保育士・友達・地域の人々・家族)・保育士や友達に自分の思いや欲求を言葉で表現する。身近な物と関わり感性が育つ
 - ◆環境(玩具・遊具・自然・施設・動物)・身近な玩具・遊具・自然に触れ、保育士や友達と一緒に遊ぶ。
 - ◆表現(ペーパーサイン・模倣・見立てる・歌う・踊る)・興味のあるものを模倣したり、保育士と一緒に歌ったり、踊ったりする。
- ### 【地域との連携】
- ◆地域の人や施設とのかかわり
 - ・サロン交流会・『イコーゼ!』の利用
 - ・ボランティア支援センターの活用
 - ・子育て支援センターとの交流

- ### 【保・小・中との連携】
- ◆異年齢交流(幼保)
 - ◆ボランティア、実習等の受け入れ

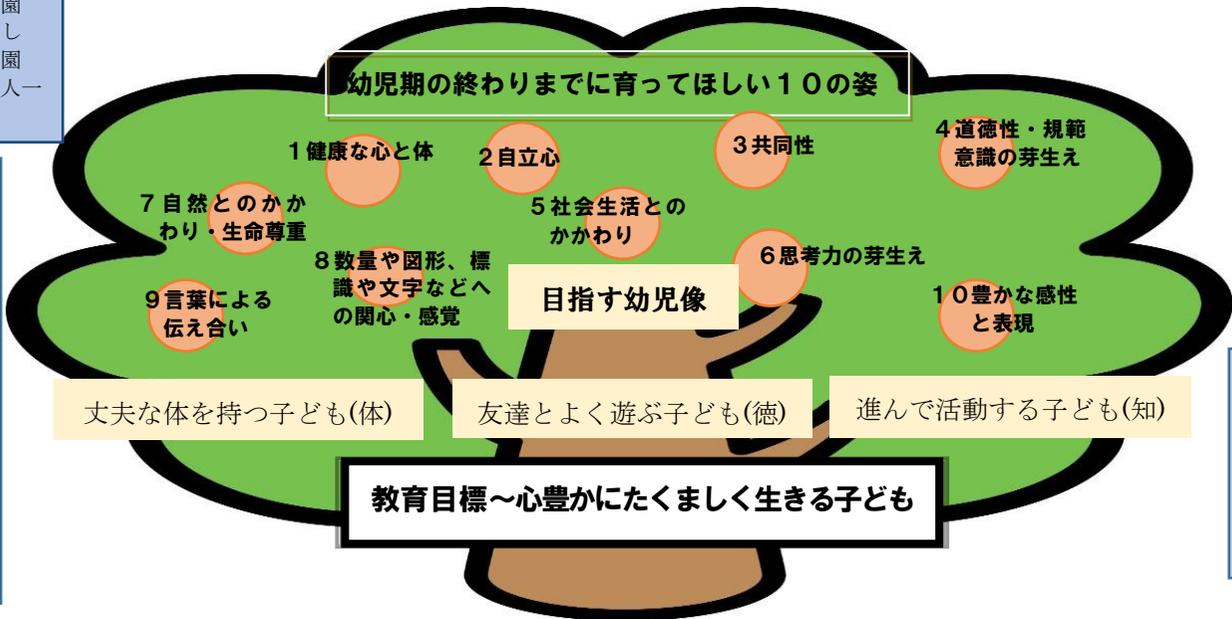
- ### 【家庭との連携】
- ◆所便り
 - ◆毎日連絡帳の記入
 - ◆降所時に保護者との直接連絡等
 - ◆PTA活動
 - ◆規則正しい生活環境づくりの推進(生活リズム『早寝早起き朝ご飯』の励行)
 - ◆幼児教育への理解促進(家庭教育学級の実施・ホームページの充実)

令和4年度 醸芳幼稚園 園経営・運営ビジョン

キャッチフレーズ 『いきいき』『にこにこ』『きらきら』

【目指す園像】
 ～笑顔と歓声あふれる幼稚園～
 ◆園児と教師がいきいきと活動している園
 ◆園児を中心に保護者や地域の人々が親しみ、和やかさを醸し出す笑顔あふれる園
 ◆夢中になって遊べる環境を工夫し、一人一人の輝きを引き出す園

【目指す教師像】
 ◆社会人としての自覚を持ち、モラルやルール、マナーを守る教師
 ◆心身ともに健康で困難に負けない精神力と体力を身に付けている教師
 ◆教育目標を達成するために同僚性を持ち組織の一員として役割を果たそうとする教師
 ◆主体的に研修や自己研鑽に励み、専門性を高めようとする教師
 ◆幼児一人一人の良さや可能性を見だし引き出していく教師
 ◆園を取り巻く様々な人との信頼関係のもと、仕事に真摯に取り組む教師



【幼児の実態】
 ◆経験したことや感じたこと、考えたことを自分なりの言葉で伝えようとする幼児が多い
 ◆友達や教師と一緒に遊ぶことを喜んでいる
 ◆絵本やお話を好む幼児が多い
 ◆幼児自ら積極的に体を動かす姿が見られ、それに伴い体力・運動能力が向上している。
 ◆多くの友達と触れ合うことで、互いに刺激し合い切磋琢磨している姿が見られる。

【保護者・地域の願い】
 ◆安全、安心な環境での生活
 ◆基本的な生活習慣の確立
 ◆たくさんの友達との円滑なかわり
 ◆心身の健やかな成長
 ◆『桑折町の目指す15歳の姿』に向けた素地の形成

【5領域】 ◆健康(運動・基本的な生活習慣・安全) ◆人間関係(教師・友達・地域の人々・親) ◆表現(感性・閃き・創造性) ◆環境(自然・物・施設・動植物) ◆言葉(聞く・話す・絵本)

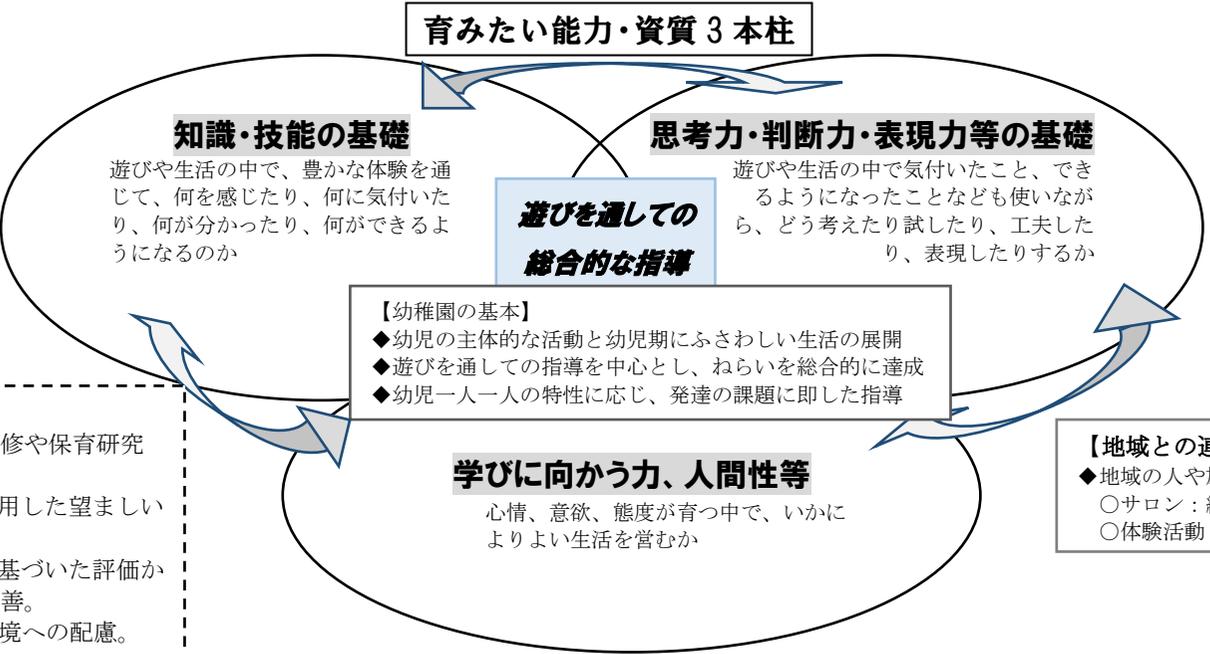
【特別支援教育の充実】 「個別の支援計画」や「個別の指導計画」等の作成・活用

【重点実践事項】

- ① 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮した保育活動。
- ② 特別な支援を必要とする子どもの指導。
- ③ 体を動かす気持ちよさを体験させるための環境づくり。
- ④ 幼児が絵本に興味や関心を持てるような環境の充実。

【その他の事項】

- ① 保育の質の向上を目指した園内研修や保育研究会への取り組み。
- ② 「家庭生活習慣のポイント」を活用した望ましい生活習慣や食習慣づくり。
- ③ 指導過程を振り返り、幼児理解に基づいた評価から良さや可能性を把握した指導の改善。
- ④ 預かり保育で安心して過ごせる環境への配慮。



【家庭との連携】

- ◆園便り ◆園生活の様子
- ◆家庭訪問・学級懇談
- ◆個別懇談・降園時の連絡等 ◆PTA活動
- ◆ファミリーティーチャー活動
- ◆規則正しい生活環境づくりの推進(生活リズム『早寝早起き朝ご飯』の励行)
- ◆幼児教育への理解促進(家庭教育学級の実施・ホームページの充実)
- ◆連携した感染症対策の実施

【保・小・中との連携】

- ◆異年齢交流(幼保、幼小、幼中)
- ◆ボランティア、実習等の受け入れ

【地域との連携】

- ◆地域の人や施設とのかわり
- サロン：緑風園やココーンとの交流会
- 体験活動：地域学校協同活動本部の活用



< 合言葉 こつこつ とことん あきらめない >

学校経営の基本方針

- ① 一人一人のよさを生かし、生き生きと輝く活気に満ちた学校づくりを推進する。
- ② 授業の質的改善を図り、すべての子どもに「わかる、できる授業」を実践し、確かな学力を育成する。
- ③ 体験的な活動や縦割り班活動等の集団活動を一層充実し、豊かな心とたくまさを育成する。
- ④ 体力づくりと健康づくりを推進し、心身ともに健康な体と最後までやり抜く力を育成する。
- ⑤ 家庭や地域との連携を深めて、地域が誇れる教育を推進する。
- ⑥ 高い倫理観と自律心を持って職務に当たる。
- ⑦ 学校事故防止を図るため、創意工夫し最大限の努力をする。

教育目標

よく考えて学ぶ子ども
親切で思いやりのある子ども
健康で明るい子ども

桑折町の15歳
のめざす姿

・人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓いていく
桑折っ子

目指す学校像

- 子供たちの笑顔が輝く学校
- 明るく楽しく学びがいがある学校
- 一人一人の特性を大切にできる学校
- 安全・安心感のある学校

目指す教職員像

- 子どものよさを認め、伸ばし、情熱を持って育む教職員
- 課題に気づき、考え、行動できる教職員
- 倫理観が高く、専門性、資質の向上を目指す教職員
- 児童・保護者・同僚から信頼される教職員

	よく考えて学ぶ子ども (知)	親切で思いやりのある子ども (徳)	健康で明るい子ども (体)
知識及び技能	○ 読書に親しみ、言葉に関する力を集め、相手の話を最後まで聞くことができる。 ○ 分かったことやできるようになったことを、互いに分かりやすく伝え合う。	○ 気持ちのよいあいさつができる。 ○ 相手の気持ちを考え、時と場にあった言動ができる。	○ 運動の正しい方法を理解し、体力や技能を高める事ができる。 ○ 健康や安全の大切さを理解し、適当な言動が取れる。
思考力・判断力・表現力	○ 情報を収集したり友達と比較したりして、問題解決をする。 ○ 自分の考えを分かりやすく言葉や絵、図等で表現し発信していく。	○ 友達や先生等とコミュニケーションを円滑に進めるために、相手の立場に立った行動ができる。	○ 自分の得意なことを発信したり、苦手なことから課題を見付け、解決に向けて努力したりすることができる。 ○ 目標を達成するためのプロセスを考えることができる。
学びに向かう力・人間性等	○ 目標を設定し、その目標を達成するために粘り強く学び続ける。 ○ 自分の良さを生かしながら協働的に学び合う。	○ 困難にくじげない強い心や、自分から行動する勇気を持つ。	○ 運動に親しみ、進んで体力の向上に努める。 ○ 友達の対話を通して、互いに認め合ったり、励まし合ったりできる。

具体的重点事項

1 基礎・基本の定着と確かな学力の育成

- 「徹底反復の時間」の充実 [学力向上]
- 活用力育成シート、定着確認シート、学習定着日(8回)
漢字・計算大会の設定(学期1回 1~3年)
- 多様な学習形態の工夫の推進(教科担任制、T・T授業
一ス別学習、合同・交流学習) [現職教育]
- 算数ジュニアオリンピックの積極的な参加
- 2 「主体的・対話的で深い学び」の授業づくり
 - 「学び合い」による思考力・判断力・表現力等の育成 [現職教育・学力向上]
 - 「学びのスタンダード」による探究型学習の授業展開と「家庭学習スタンダード」を活用した家庭学習の充実
- 3 読書活動の推進
 - 読書タイムの充実や「家読」の推進 [創意活動・図書館教育]
 - 学年図書コーナーの整備と活用の工夫 [図書館教育]

1 人間関係形成能力の向上

- QUテストや諸調査を生かした満足感、自己肯定感
高める学級経営の充実 [教育調査・教育相談]
- あいさつ力の向上 [児童会活動]
「学級タイム」や学級活動の充実[創意活動・学級活動]
- 2 豊かな体験活動を生かした教育活動
 - 地域サポーター、外部施設の活用 [地域連携]
 - 幼・異学年、他校との交流 [各学年・教務]
 - 生活科・総合的な学習の時間の充実
- 3 道徳教育の充実
 - 考え・議論する道徳科の授業の充実(授業参観時1回公開)
 - 重点価値を意識した考える授業
・低・中学年 「努力と強い意志」「親切・思いやり」等
・高学年 「希望と勇気、克己と強い意志」「思いやり・感謝」等
- 4 夢や希望に向かうキャリア教育の推進 [特別活動]
 - キャリアパスポートを生かした特別活動の充実
 - 自主性を育てる愛校活動の実践

1 運動指導の充実と運動の日常化

- 運動身体づくりプログラムの継続と自校化[体育科]
- ゲストティーチャーによる専門的な指導[体育科]
・ラグビー、陸上指導、バスケットボール
- 学習カードを活用した目標設定と成果の見える化
[体育科・体育的行事・業間運動「はやぶさタイム」]
- 2 基本的生活習慣の確立と食育の推進
 - 「早寝・早起き・朝ご飯」の推進と生活習慣づくり
 - 家庭・関係機関と連携した歯みがき、食育の取組
[学級活動・健康教育・給食指導]
- メディアコントロールの推進 [情報教育]
- 3 安全に対する意識や主体的な行動力の育成
 - 緊急時の行動力を身に付ける安全教育の実施
[交通教室、避難訓練、防犯教室、放射線教育、新しい生活様式]

評価
成果指標

- ☆ 現職研修による授業力の向上~一人一授業研究
- ☆ 国語・算数単元テストの平均85点以上
- ☆ 全国学力学習状況調査、ふくしま学力調査平均以上
- ☆ 徹底反復チェックテスト 漢字該当年90%
100マス計算合格者 前年度合格者+20%
- ☆ 学力テストNRT偏差値5.5
アンダーアチーバー0

- ☆ 自分からあいさつ100%
- ☆ 道徳の授業が好き 80%児童アンケート
- ☆ 醸芳っ子の約束の遵守 100%
- ☆ 不登校0、いじめ未解決0へ向けた取組、対応
- ☆ 自主的ボランティア活動(除草、落ち葉掃き、雪かき)

- ☆ 新体力向上テストAB40%以上DE20%以下
- ☆ 持久走記録会、なわとび大会目標達成50%
- ☆ 食育アンケート「早寝、早起き、朝ご飯100%、虫歯治療100%、肥満10%以下

家庭・地域・保護者との連携 「醸芳プライド」を大切にした「桑折町ならではの」教育の推進 (◇ ふるさと教育 ◇ 平和学習 ◇ SDGs)

- 「家読」運動 ○ 健康への意識化(肥満解消やう歯治療)
- 基本的な生活習慣の確立(早寝・早起き・朝ご飯、メディアコントロール)
- 地域の人材活用(図書ボランティア、器楽部ボランティア、
- 植物栽培ボランティア) ◆ 保護者や地域への情報発信 ◆ 保護者との情報交換や話し合い ◆ 学校評価、自己評価

第6次福島総合教育計画
 「ふくしまの和」で奏でる、こころ豊かなたくましいづくり
 桑折町教育振興基本計画(2022~2031)
 教育委員会重点事項
 「桑折町の15歳のめざす姿」

保護者の願い
 ○ 安全で安心な生活を送らせたい。
 ○ 自分から学習に取り組んで欲しい。
 ○ 基本的な生活習慣を身につけさせたい。
 ○ 健康で強い心と体を育てたい。



睦み合いの心

教育目標

向上心を持ち 実践力のある児童の育成

～見あげる心 かがやく目～

めざすこども像

進んで学ぶ子供

思いやりのある子供

元気でねばり強い子供

重点課題

確かな学力の定着

望ましい学習習慣を身につけ、主体的に学習に取り組むことができる

豊かな人間関係づくり

自他を大切にすることをもち、快くすすんで協力できる

健やかな心と体の育成

基本的な生活習慣を身につけて、目標に向かい努力することができる

実践事項

- 1 「主体的、対話的で深い学び」をめざす授業を実践します。**
 ○ 学び方の定着(学びのスタンダード)
 ○ 「わかった・できた」を実感できる授業実践
 ○ 活用力・表現力を高める授業実践
 (ふくしまの「授業スタンダード」・活用力育成シート)
2 自ら学ぶ学習習慣を育成します。
 ○ 徹底反復の推進
 ○ タブレットの有効活用
 ○ 保護者と連携した家庭学習の推進(家庭学習スタンダード)
 ○ 自主学習の工夫(ノートづくりと展示会・自学コンテスト)
 ○ ステップ学習の奨励(アシストシート)
3 読書習慣を育成します。
 ○ 学年必読書の設定と読書奨励
 ○ 読書活動の充実(図書ボランティア・読み聞かせ)
 ○ 「家読運動取り組みコンクール」の奨励

- 1 望ましい人間関係を育成します。**
 ○ 互いの良さを認め合う集団づくり
 ○ 相手を思いやる心の育成
 ○ 縦割活動、異学年交流活動の充実
2 人権を尊重する豊かな心を育成します。
 ○ 特別な教科「道徳科」の充実
 ○ 自己肯定感・存在感の醸成
 ○ 人権課題を意識した指導(人権教育)
 人権課題: LGBT, インターネット、いじめ、震災等による人権侵害
3 豊かな社会性を育成します。
 ○ 体験活動の充実
 (自然文化体験学習、出張出前講座、ふるさと学習、キャリア教育)
 ○ 地域人材の活用(学校支援ボランティア、ゲストティーチャー)

- 1 基本的な生活習慣を育成します。**
 ○ 心身の健康を保つ生活習慣の育成
 (早寝・早起き・朝ごはん)
 ○ メディア教育の推進(メディアコントロールチャレンジ等)
2 体力の向上を図ります。
 ○ 「体力向上1校1実践」の実施
 ○ 運動身体プログラムの実践による授業の充実
3 健康・安全教育の充実を図ります。
 ○ 専門家による食育授業と健康管理の推進
 ○ 健康・安全・放射線教育の充実

特別支援教育の充実

- 個に応じた支援
- 関係機関・SCとの連携
- 通級指導との連携

開かれた学校の構築

家庭との連携

- メディア教育の一層の推進(町連P連携)
- 「家読(うちどく)」の推進(町連携)
- 積極的な情報発信
- 学校へ行こう週間
- 学校評価の実施

地域との連携

- ふるさと学習の充実
- ゲストティーチャーの活用
- 幼稚園や町内各学校等との連携
- 学校評議員会(年2回開催)
- 地域行事への参加奨励

新しい生活様式を意識した教育

制約がある中でも最大限の教育効果

教育活動の基盤整備・多忙化解消

- GIGAスクール構想への対応
- 統合型校務支援システムの活用
- チーム睦合の体制強化
- 子供と向き合う時間の確保

<目指す学校像>

- ・明日も来たい、楽しい学校（児童）
- ・子供のために勤務したい学校（教師）
- ・通わせてよかったと言える学校（保護者）
- ・わが地区のすばらしい学校（地域）



<目指す児童像>

- ・自ら考え、共に学び合い、自己実現できる子供（知）
- ・相手の身になって行動できる、優しさと強さをもつ子供（徳）
- ・健康な心と体づくりを意識し、実践できる子供（体）

<教育目標>

考える子（夢いっぱい・知）
 思いやりのある子（笑顔いっぱい・徳）
 たくましい子（元気いっぱい・体）



<第7次 福島県総合教育計画 福島県で育成したい人間像>

・急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人

<桑折町の15歳のめざす姿>

・人間としての基本を身につけ、強みを発揮して、たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子



<学校経営の基本理念> 「半田プライド」を胸に、ふるさとを愛し、高い志と強い意志をもち、地域とともに学ぶ「半田っ子」の育成

確かな学力の向上（考える子）

1 確かな学力をめざす学習指導の充実

- ◎基礎的・基本的な知識・技能の定着
 - ・読み書き計算徹底反復（チャレンジタイム）
 - ・個別指導の時間の確保（ちょこっとタイム）
 - ・体験的・問題解決的な学習を通じた習得
- ◎「主体的・対話的で深い学び」をめざす授業
 - ・思考力・判断力・表現力を高める授業の工夫
 - ・ふくしまの「授業スタンダード」「活用育成シート」の活用
 - ・振り返りの時間の充実
- ◎ICT（タブレット）を効果的に活用した授業実践



2 特別支援教育の充実

- 合理的配慮、個別の指導計画を生かした指導
- 校内支援体制の整備、関係機関や通級指導教室との連携

3 外国語科、国際理解教育の充実

- 外国語科の授業力の向上
- EAT、ALTとのTTによる外国の言語や文化の理解

4 読書活動の推進

- 読み聞かせの実施と読書時間（読書タイム）の確保
- 「家読の日」（毎月23日）の推進

5 家庭学習の習慣化と自己マネジメント力の向上

- ふくしまの「家庭学習スタンダード」の活用
- 「半田醸芳小 家庭学習の仕方」の活用

豊かな人間性の育成（思いやりのある子）

1 道徳教育の充実

- ◎考え、議論する道徳科の授業の実践
- ◎体験的・問題解決的な学習を生かした授業

2 生徒指導の充実

- 自己存在感を高め、よさを伸ばす学級経営
- ・積極的な生徒指導の推進（教育相談、心のアンケート、生活アンケート、アンケートQU）
- ・自己肯定感の向上を図る日常生活指導の工夫（気づかせる場・活躍できる場・ほめる場の設定、「夢いっぱい賞」表彰）
- いじめ・不登校の未然防止と早期発見・早期対応
- ・アンケート等による情報収集と相談活動 ・関係機関との連携
- ◎基本的生活習慣の確立
 - ・規則正しい生活、言葉遣い、二言挨拶、返事、靴そろえ、ゲーム機器の使用
- 縦割り班活動の充実
 - ・ふれあいタイム・わんぱくタイムでの活動、無言清掃



3 人権教育の推進

- 学校の教育活動全体を通じた人権教育の推進（平和、障害者、高齢者、病気感染者、性的マイノリティ）
- 人権が尊重される環境づくり（安心して過ごせる学校・学級）

4 環境教育の充実

- 自然体験活動の充実（緑の少年団、森林環境学習、宿泊学習、学校田、学校畑、SDGs）

体力向上と健やかな心身の育成（たくましい子）

1 教科体育の充実と運動の日常化

- ◎「1学級1実践」の継続した取組（課題；筋持久力の向上）
- ◎体育科授業の充実
 - ・体づくり系、器械運動系の単元の指導の充実
 - ・運動身体づくりプログラムの年間を通しての実施
- ◎朝マラソン、朝ダッシュ（なわとび）の取組と各種校内記録会の実施
- 体を動かす多様な遊びの推奨と日常化（遊具、クロスアトリコース）

2 保健健康指導の充実

- ◎「早寝早起き朝ご飯」の習慣化の徹底（生活習慣調査、規則正しい生活）
- 歯の衛生指導（フッ化物洗口の継続的実践を含む）
- 肥満傾向児童へのすこやか教室の実施
- メディアコントロールの推進
- ◎新型コロナウイルス感染症予防指導



3 食育の充実

- 給食の時間を利用した食育の指導
- 食事のマナーとバランスのとれた食生活の指導
- TTによる食育授業の推進と「親子で作るお弁当の日」の設定

4 防災教育・安全教育の推進

- 安全に生活する態度の育成と放射線教育の系統的指導
- 具体的な場面を想定した危険予知・回避能力の育成（避難訓練）
- 緊急時の危機管理マニュアルの周知・徹底（引き渡し訓練）
- 毎月の安全点検の実施と改善（児童教師合同安全点検の実施）

特色ある教育活動・開かれた学校づくり 「半田ならではの」

- 「ふるさと学」の推進と地域人材の活用
 - ・半田銀山そば、半田の歴史学習、西山城学習、ホテル学習、半田祇園ばやし、だんごさし
- 人とのかかわりを大切にした交流活動（異学年、他校、高齢者、地域）
- 学校、学年、保健、食育、生徒指導等各種おたよりの計画的な発行
- HPによる保護者や地域へのタイムリーな情報発信と情報収集
- 緊急連絡メール配信システムの有効活用
- 学校評価を生かした、反省・改善の変容が見える教育実践

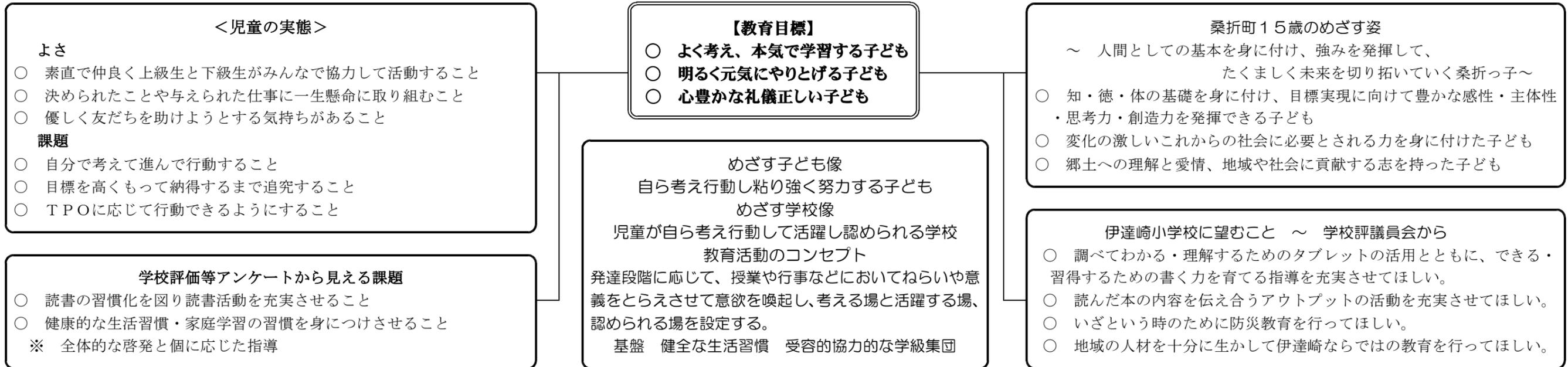


教職員の専門的な資質・能力の向上 「チーム半田」

- 全職員が目的意識と研修意欲をもった職務遂行と学校運営への積極的参画
- 教職員人事評価を中心に据えた教職員の意識改革と教師力の向上
- 現職教育を中心とした自己研鑽と校内研修の充実
 - ・外部講師の活用 ・実効性のある授業研究会の推進（互見授業の充実）
- 不祥事絶無をめざす高い倫理観と法令遵守の意識高揚
 - ・服務倫理委員会の充実と不祥事ゼロ
- 教職員同士の信頼感やセーフティネットの役割の構築
- 働き方改革を意識した業務改善により、子どもと向き合う時間の確保



令和4年度 桑折町立伊達崎小学校 学校経営・運営ビジョン



重点	知 学力向上 授業改善 集中した学習 質の高い授業	徳 道徳 読書 体験 礼儀 心豊かな人間への歩み	体 健康増進 体力向上 安全安心 自律した生活 やり遂げる強さ	連携 保護者 地域 教育委員会 各学校 開かれたしなやかな学校
具体的実践事項	<p>1 基礎学力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読み・書き・計算の徹底反復」(週3回)実施 ・まとめ・振り返りの充実による基礎基本の定着 ・授業 ～ 書く力の育成 <p>2 授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現職教育を中心とした授業研究の実施 ・児童の実態把握・分析と実態に応じた教材作成 ・県施策「学びのスタンダード」町教委「授業改善充実」の視点を基にした授業改善 <p>3 個に応じた学習支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の学力の分析と個別指導・支援の工夫 ・一人一人を大切にす温かい教育の視点で合理的配慮を取り入れた授業 <p>4 家庭学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習スタンダード」を基にして自己マネジメント力の向上の推進 ・自己学習ノート活用の推進とノート展の実施 	<p>1 「特別の教科道徳」を要とした道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特別の教科道徳」の趣旨に沿った授業実践 ・授業参観等における「特別の教科道徳」の授業を公開 <p>2 豊かな体験活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動を通じた道徳性の育成(特別活動や縦割り班活動によるふれあい) ・地域の方々との交流や地域素材を生かした多様な体験活動の充実 <p>3 読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動(週3回程度)毎月23日家読の日による読書の推進 ・授業や委員会活動による啓発 <p>4 生徒指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場に応じた気持ちのよいあいさつや返事ができる児童の育成(心ある「あいさつと返事」) ・望ましい生活態度の育成 	<p>1 運動の日常化と体育的行事の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動身体づくりプログラムの工夫と実践 ・「あぶくまマラソン」「なわとび」の実施 ・校庭、体育館での遊びの奨励 ・児童の積極的な運営参加による運動会の工夫 <p>2 感染症予防の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な対策の継続 ・児童会委員会による感染症予防の啓発 ・町・地域・学校医・PTAとの連携 <p>3 健康的な生活習慣の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアとの正しいかかわり方の啓発(GIGAと関連させる) ・健康教育(食生活・歯磨き等)の充実 <p>4 防犯・防災教室の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の協力による安全教育の充実 ・防災訓練の実施 ・災害対応に関する具体的な知識 	<p>1 PTA活動の安定した運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での会議及び行事等の開催方法の工夫 ・創立150周年記念事業の実施 <p>2 地域の関係機関、人材との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故防止、安全安心な登下校のための情報連携や連携の強化 ・桑折町教育委員会の地域人材のコーディネートを生かした学習等の充実 <p>3 桑折町各教育機関との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑折町教育委員会の施策と方針の理解 ・各学校との情報交換を密にして、共同歩調をとることと学校独自の取組について判断して実践する。 <p>4 情報発信のツールの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年だよりやホームページ、安心メールの効果的な活用による保護者との連携協力
検証指標	<p>1 達成指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) NRT学力検査 平均偏差値 アンダーアチーバー (2) 徹底反復学習 合格者割合 (3) 学校評価項目 わかりやすい授業 <p>2 実践指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 教員全員の授業研究の実施 (2) 家庭学習 ノート展の実施 	<p>1 達成指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 学年ごとの 冊数の読破 (2) 学校評価項目 あいさつ 等 (3) いじめ見逃し 0 (4) 不登校 0 <p>2 実践指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 道徳の授業の公開 (2) ふれあいの時間の効果的な運用 	<p>1 達成指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) あぶくまマラソン自己ベストの更新 (2) なわとびの自己ベストの更新 (3) 体力テスト (4) 新型コロナウイルス感染症 未然防止 <p>2 実践指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 運動会(スポーツ集会)の円滑な運営 (2) 防災訓練の実施 	<p>1 達成指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) PTA活動の円滑な実施 (2) 児童の自覚を高める創立150周年記念事業の実施 <p>2 実践指標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 学級だよりの発行 (2) ホームページによる情報発信

子どもを支え伸ばす教職員像 教育目標の達成を目指して貢献する教職員 一人一人の子どもの実態をとらえてその成長を全員一丸となって支える教職員 教職員間と子どもとで互いに学び合い高め合い成長する教職員

学校運営のスタンス 一人ひとりの教職員が担当する部門・領域のリーダーシップを発揮する。民主的効率的な運営に努める。

働き方改革の視点 重点化=まず授業 スクラップ=無駄をなくす ブラッシュアップ=現行の取組の充実を図る そしてビルド=新規取組 集中=タイムパフォーマンスを上げる 協力=支え合い

◎ 被災したことをマイナスに捉えず、前向きに教育活動に取り組むチーム伊達崎小学校を目指し、教職員一丸となって、児童を中心とした教育を推進する。

◎ 誰もが悩みを抱えている視座を大切にしながら、感謝と思いやりの心を忘れない人であることに努める。

令和4年度 桑折町立醸芳中学校 学校経営・運営ビジョン

<生徒の願い>

- いじめのない学校にしたい。
- 進んであいさつができるようにしたい。
- 明るく活気のある学校にしたい。

<保護者の願い>

- 学力を向上させてほしい。
- 進路指導を充実させてほしい。
- いじめがないように指導してほしい。
- ねばり強い人間に育ててほしい。

<地域の願い>

- ICT機器などを十分に活用し、時代に合った教育を進めてほしい。
- 不登校生徒へ支援を十分に行ってほしい。

人間としての基本を身に付け、強みを発揮して、
たくましく未来を切り拓いていく桑折っ子

- 知** … 学ぶ意義を理解し、習得した知識や技能を進んで生かそうとしている。
徳 … 郷土愛にうち、自他を大切にし、社会に貢献しようとしている。
体 … 心身共に健康で、たくましく生きるための体力を備えている

【教育目標】

- 自立** ～ 自ら学び、考え判断、行動し、自分を高める生徒 (知)
利他 ～ 思いやりをもち、協力して、他者や社会のためにつくす生徒 (徳)
健康 ～ 命を大切にし、心身ともに健康で体力を高める生徒 (体)
努力 ～ 何事にも真剣に取り組む生徒 (態度)

【目指す学校像】

- 生徒が夢や希望、志をもち、その達成に向けて努力している学校
- 生徒一人一人の学力を伸ばす学校 ～アンダーアチーバー10%未満～

<生徒の実態>

- よさ** ○ 素直で何事にも一生懸命取り組む。
 ○ 友達思いで優しい。
 ○ 真面目でルールを守ろうとする。
課題 ○ 自分の考えをもち表現すること。
 ○ 高い目標に向かって努力すること。
 ○ 自主性
 ○ 集団として高め合うこと。

<醸芳中学校の課題に向き合う教師像>

- 絶えず研究と修養に努める教師
- 授業改善に努める教師
- 部活動に熱心な教師
- 師弟同行
良きモデルとなるよう努める教師

今年度の重点事項

自立（知）～ 学ぶことをとおして自分の人生を切り拓く

- 生徒が互いに高め合う授業をします
 - ・ 問題解決型の授業の構想、実践
 - ・ 『なびタイム』（まとめ・振り返りの時間）の充実
 - ・ 「人とつながる 社会とつながる 未来とつながる」ICT機器の活用
- 学力を定着・向上させます
 - ・ 学習の5つの約束の徹底
 - ・ わかるまで教え、できるまで支える学習指導
 - ※ 繰り返しの学習の充実と基礎力テストの実施
 - ・ 個に応じた家庭学習の習慣化の指導（5つのステップ）
- 読書活動を充実させます
 - ・ 朝の読書の充実
 - ・ 読書習慣強化週間の取組
- 志の教育を系統的計画的に進めます
 - ・ 「職業人に学ぶ」「職場体験」「高校調べ」や入学式、立志式、卒業式等の学校行事の充実
 - ・ 総合学習や学級活動を中心とした生き方を考える教育の充実

利他（徳）～自分を見つめ他を思いやり行動する

- 規範意識を高め、自主性を育みます
 - ・ TPOに応じた行動の指導の充実
 - ・ 朝自習、落ち着いた給食、無言清掃、あいさつの奨励
 - ・ より良い醸芳中学校を目指す生徒会活動の活性化
- いじめ、不登校に丁寧に対応します
 - ・ 人間としての生き方について考えを深める道徳の授業の充実
 - ・ QUTESTの意図的効果的な活用
 - ・ いじめの早期発見、早期対応
 - ・ 組織をあげた不登校への対応
 - ・ 家庭と協働した生徒の自己肯定感を高める働きかけ
- 心の悩みの解決に努めます
 - ・ アンケート調査や教育相談による悩みや問題の早期発見・早期対応
 - ・ スクールカウンセラーによる面談の実施
- 地域との交流を深めます
 - ・ サマーショートボランティア、地域清掃活動への積極的な取組
 - ・ 郷土の歴史を学ぶ学習の充実

健康（体）～命を大切に健康を増進し体力を高める

- 健やかな体づくりと体力向上を図ります
 - ・ 目標が明確な保健体育の授業など体力向上の取組
 - ・ 部活動の充実
 - ・ 校内駅伝競走大会の実施
 - ・ 確実な保健検査の実施
 - ・ むし歯の治療、肥満の解消への取組
- 健全な生活習慣を形成します
 - ・ 学校給食を活用した食育の推進
 - ・ 「保健だより」「生活習慣改善に向けた授業」などによる健全な生活習慣の重要性の啓発
 - ・ 「生活ノート」を利用した個別指導の充実
 - ・ メディアコントロールの推進
- 命を守る安全教育を推進します
 - ・ 飛び出し防止と安全な自転車の乗り方に重点を置いた交通安全教室の実施、自転車乗車時のヘルメット着用の推進
 - ・ 防災教育、放射線教育の充実
 - ・ SNS 関連防犯教室、不審者対応避難訓練の充実
 - ・ 感染予防対策の充実

- 保護者との連携を強化し、協力して生徒の成長を支えます。
 - ・ 保護者参観（授業参観、醸中祭、三者面談等）の充実

- ・ PTA委員会活動の充実
- ・ 学校だより、学年だより、保健だよりの定期発行
- ・ 学校ホームページの更新

令和4年度 こおり教育要覧

発行：桑折町教育委員会

〒969-1692

福島県伊達郡桑折町大字谷地字道下 22 番地 7

TEL 024-582-2403 ・ FAX 024-582-2470

<https://www.town.koori.fukushima.jp>

献上桃の郷[®]



こおりまち
桑折町